

現在の健康状態

現在のあなたの健康状態はいかがですか。(○はひとつ)

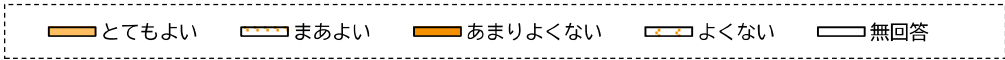
<高齢者一般調査 問34・在宅要支援認定者調査 問35>

【単純集計】

回 答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
とてもよい	171	12.2%	47	3.7%
まあよい	988	70.3%	656	52.2%
あまりよくない	200	14.2%	395	31.4%
よくない	27	1.9%	116	9.2%
無回答	19	1.4%	43	3.4%
合 計	1,405	100.0%	1,257	100.0%

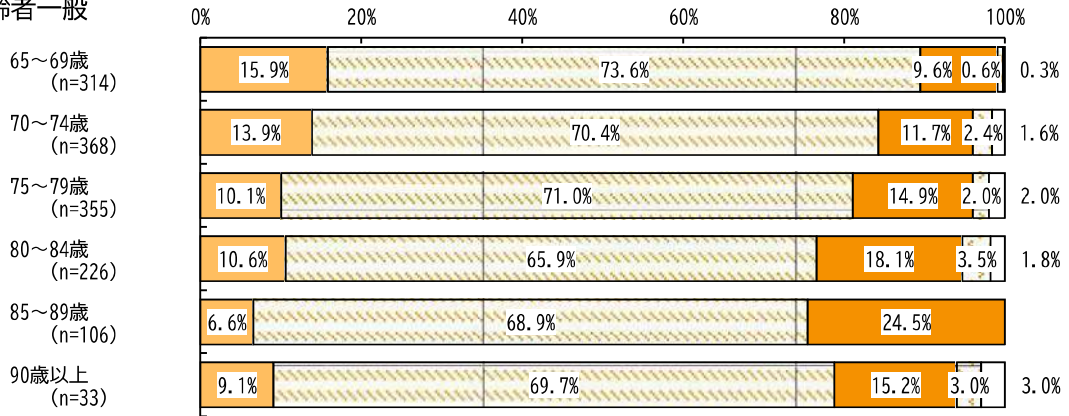
単純集計でみると、高齢者一般、在宅要支援認定者ともに、「まあよい」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、高齢者一般では、85～89歳で「とてもよい」「まあよい」の合計の割合が最も低くなっています。在宅要支援認定者では、65歳未満で「とてもよい」「まあよい」の合計の割合が最も低くなっています。

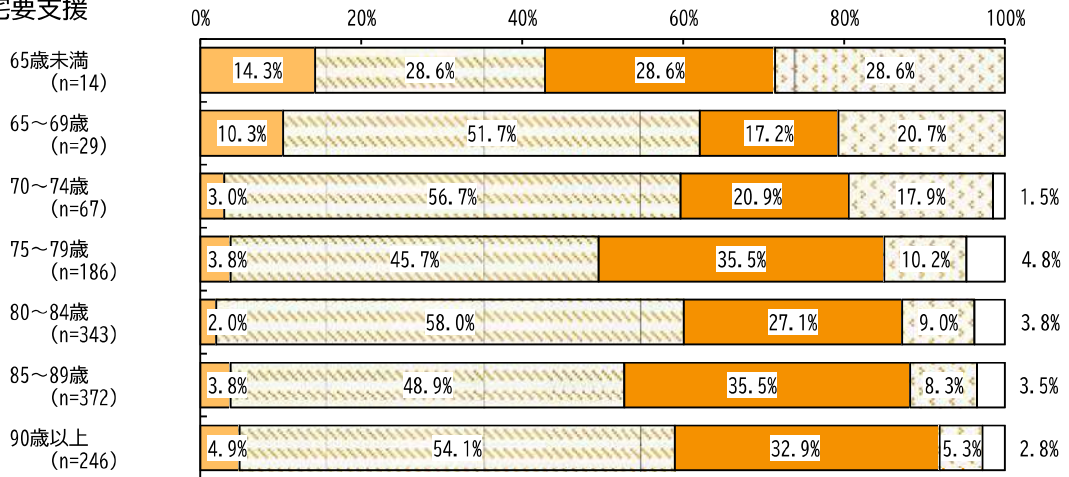


【年齢別集計】

○高齢者一般



○在宅要支援



健康のために心がけていること

ご自分の健康のためにどんなことを心がけていますか。(○は3つまで)

<高齢者一般調査 問35・在宅要支援認定者調査 問36>

【単純集計】

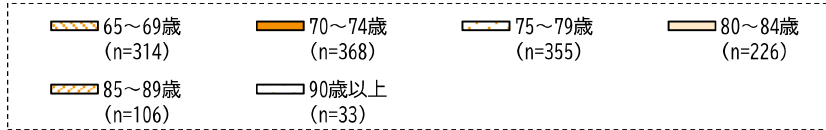
回 答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
休養や睡眠を十分にとる	766	54.5%	654	52.0%
食事に気をつける(栄養バランスを意識する、体に良い食べ物をとるなど)	721	51.3%	609	48.4%
歯や口の中を清潔に保つ	443	31.5%	379	30.2%
健康診断などを定期的に受ける	530	37.7%	324	25.8%
酒、タバコを控える	62	4.4%	36	2.9%
散歩やスポーツをする	408	29.0%	237	18.9%
地域の活動に参加する	31	2.2%	30	2.4%
教養や学習活動などの楽しみを持つ	81	5.8%	46	3.7%
気持ちをなるべく明るく持つ	201	14.3%	226	18.0%
身の回りのことはなるべく自分で行う	450	32.0%	659	52.4%
仕事をする	233	16.6%	54	4.3%
その他	18	1.3%	7	0.6%
特に心がけていない	17	1.2%	39	3.1%
無回答	7	0.5%	34	2.7%
回 答 数	1,405	-	1,257	-

単純集計でみると、高齢者一般では「休養や睡眠を十分にとる」が最も高く、次いで「食事に気をつける(栄養バランスを意識する、体に良い食べ物をとるなど)」が高くなっています。在宅要支援認定者では「身の回りのことはなるべく自分で行う」が最も高く、次いで「休養や睡眠を十分にとる」が高くなっています。

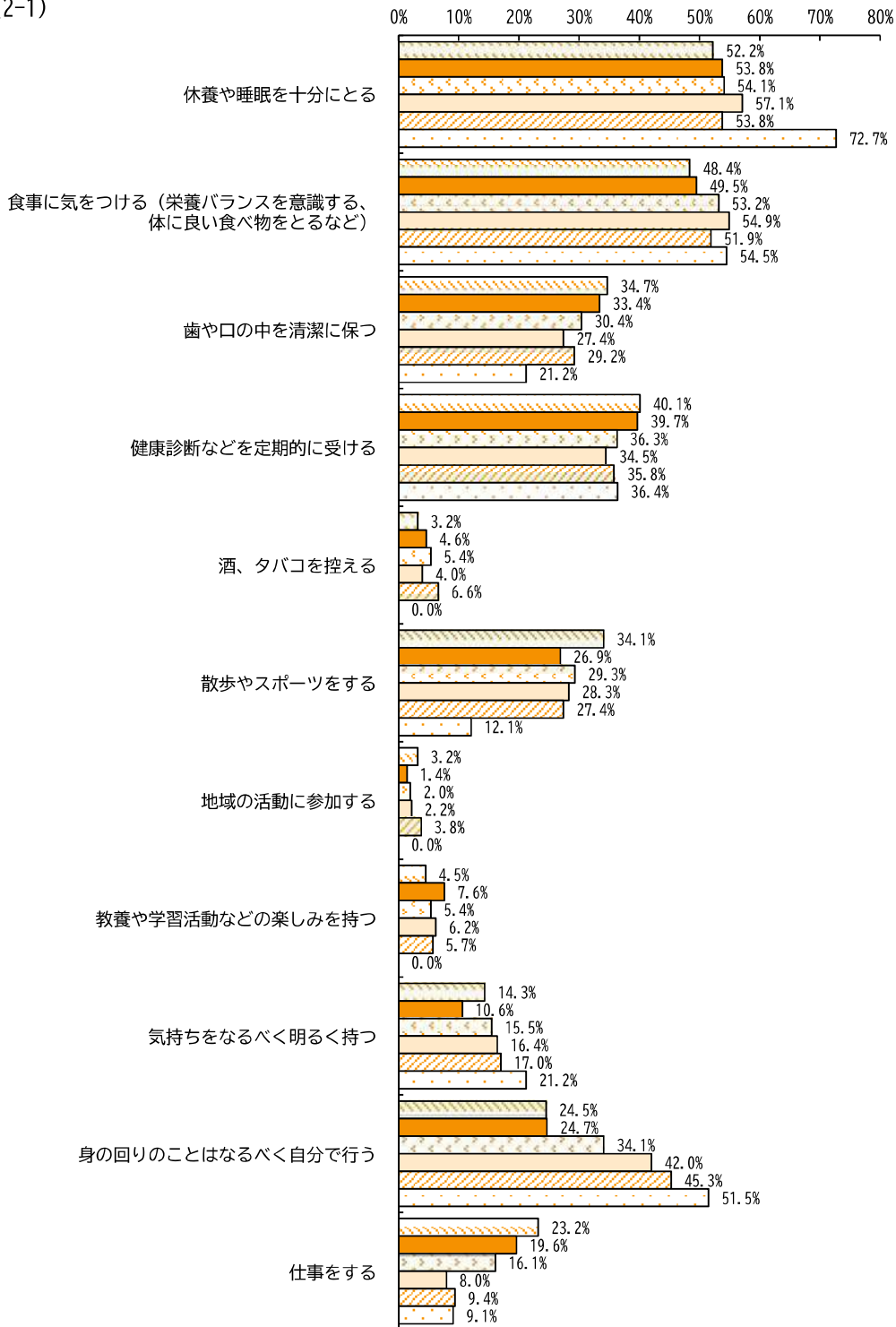
年齢別でみると、高齢者一般、在宅要支援認定者ともに年齢が高くなるにつれて「身の回りのことはなるべく自分で行う」の割合が高くなっています。

【年齢別集計】

○高齢者一般



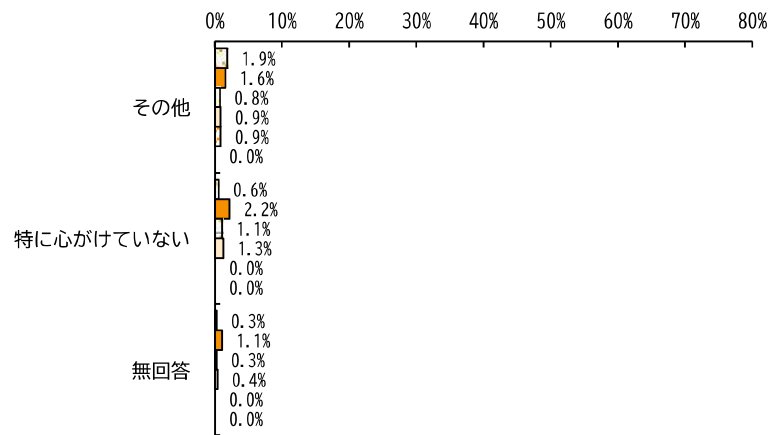
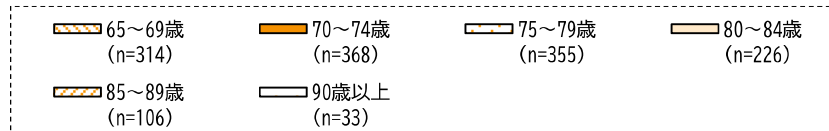
(2-1)



【年齢別集計】

○高齢者一般

(2-2)

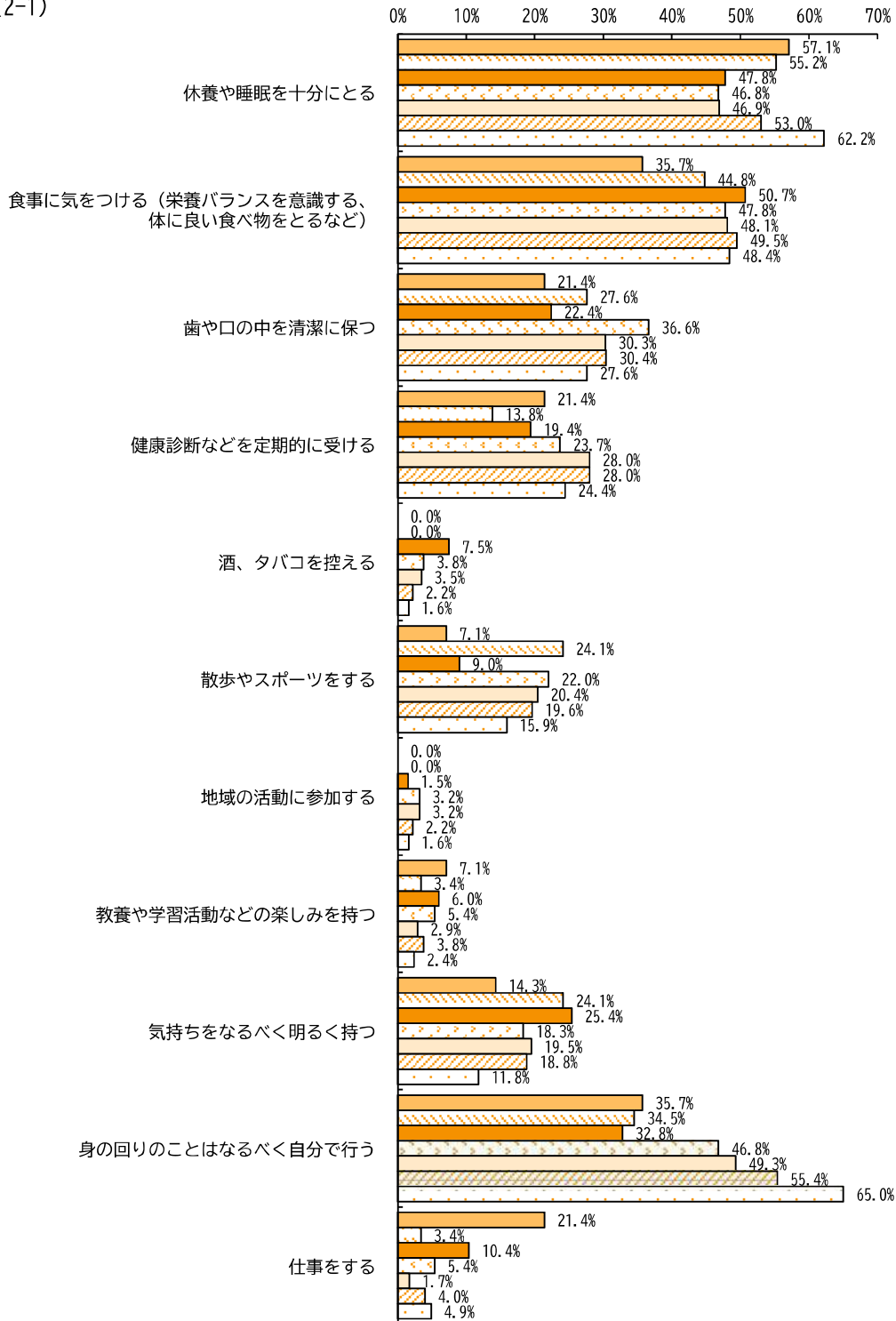


【年齢別集計】

○在宅要支援



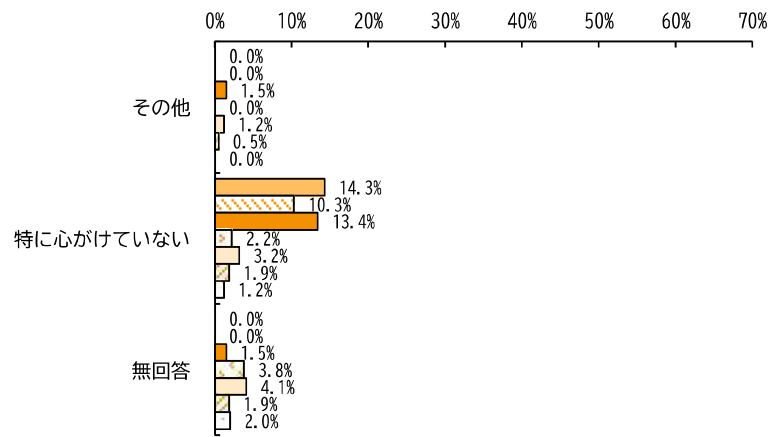
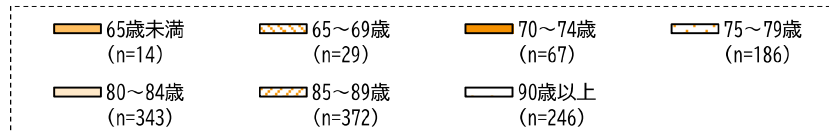
(2-1)



【年齢別集計】

○在宅要支援

(2-2)



健康について知りたいこと

健康についてどのようなことが知りたいですか。(〇は3つまで)

<高齢者一般調査 問36・在宅要支援認定者調査 問37>

【単純集計】

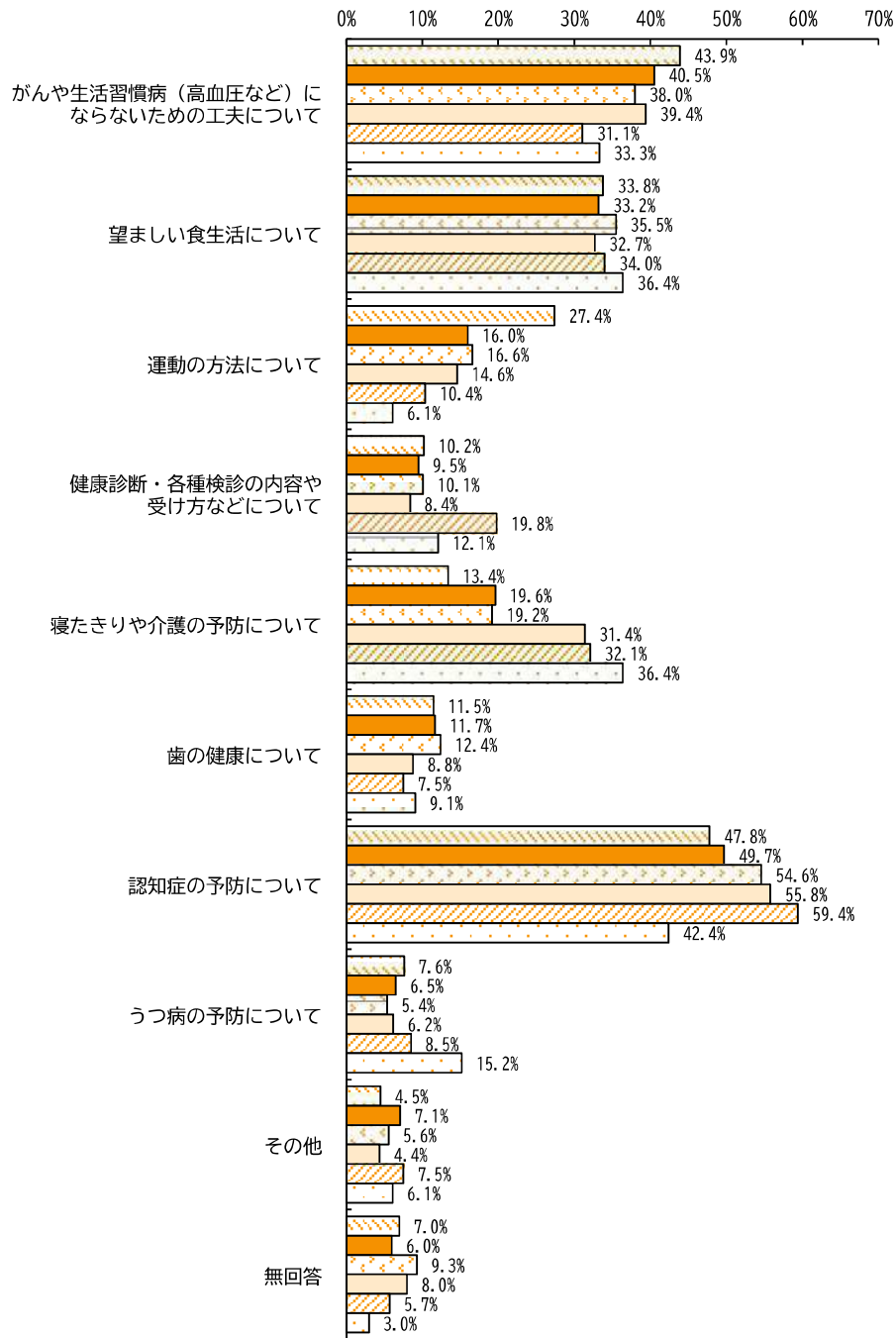
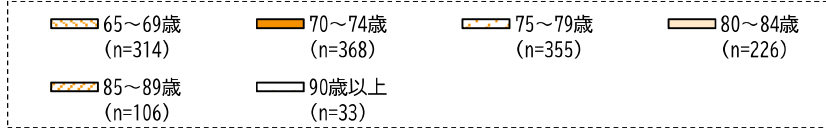
回 答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
がんや生活習慣病（高血圧など）にならないための工夫について	557	39.6%	398	31.7%
望ましい食生活について	476	33.9%	428	34.0%
運動の方法について	250	17.8%	217	17.3%
健康診断・各種検診の内容や受け方などについて	147	10.5%	117	9.3%
寝たきりや介護の予防について	299	21.3%	405	32.2%
歯の健康について	154	11.0%	123	9.8%
認知症の予防について	731	52.0%	610	48.5%
うつ病の予防について	96	6.8%	100	8.0%
その他	80	5.7%	48	3.8%
無回答	103	7.3%	136	10.8%
回 答 数	1,405	-	1,257	-

単純集計でみると、高齢者一般、在宅要支援認定者とも「認知症の予防について」の割合が最も高く、高齢者一般では次いで「がんや生活習慣病（高血圧など）にならないための工夫について」が高く、在宅要支援認定者では次いで「望ましい食生活について」が高くなっています。

年齢別でも「認知症の予防について」の割合が最も高くなっています。

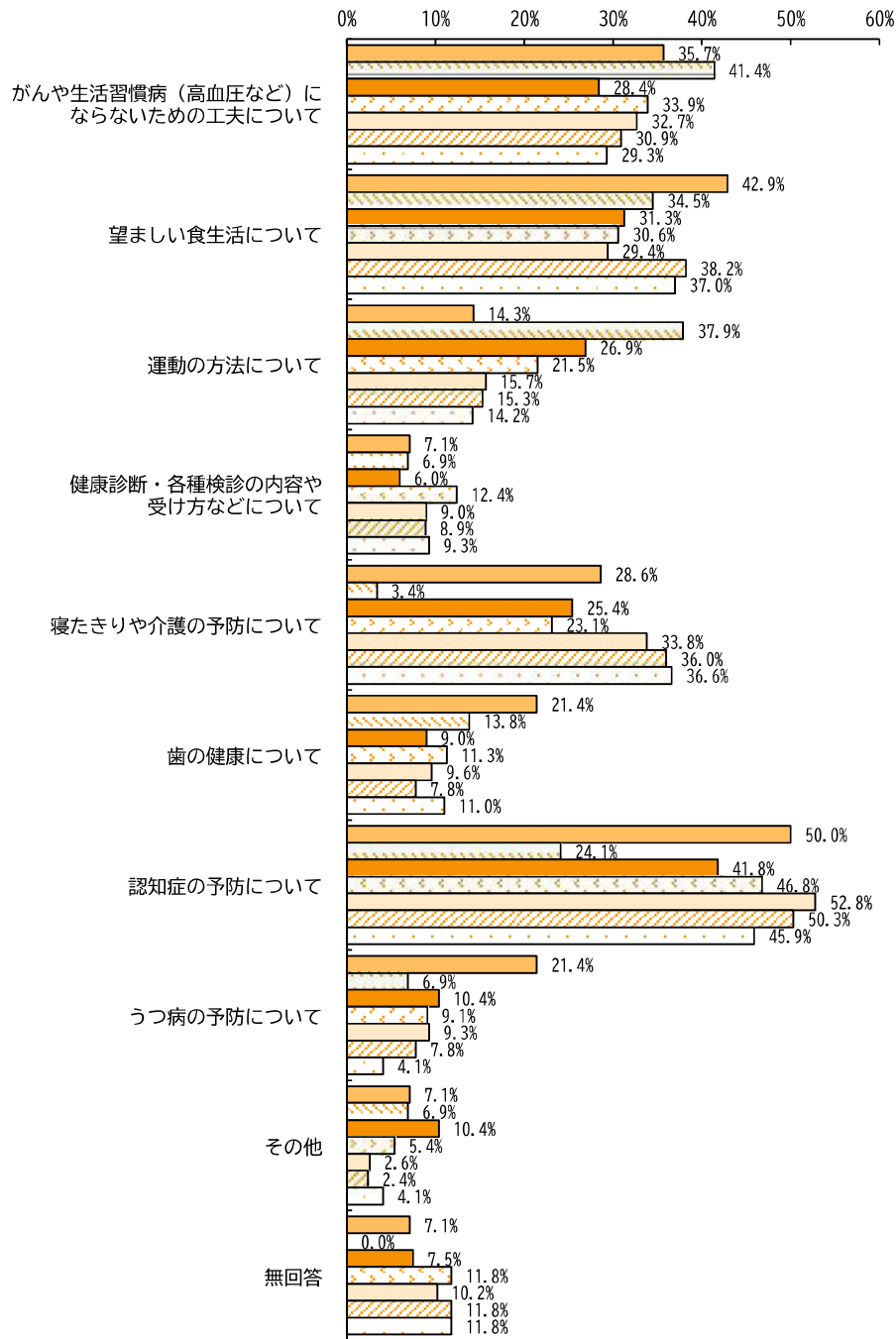
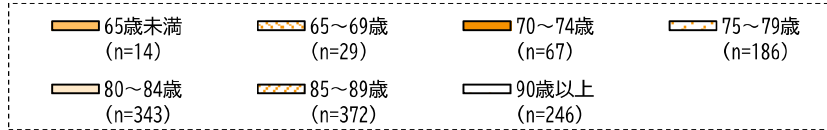
【年齢別集計】

○高齢者一般



【年齢別集計】

○在宅要支援



現在の幸福度

あなたは、現在どの程度幸せですか。(○はひとつ)

(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、該当する点数に○をつけてください。)

<高齢者一般調査 問37・在宅要支援認定者調査 問38>

【単純集計】

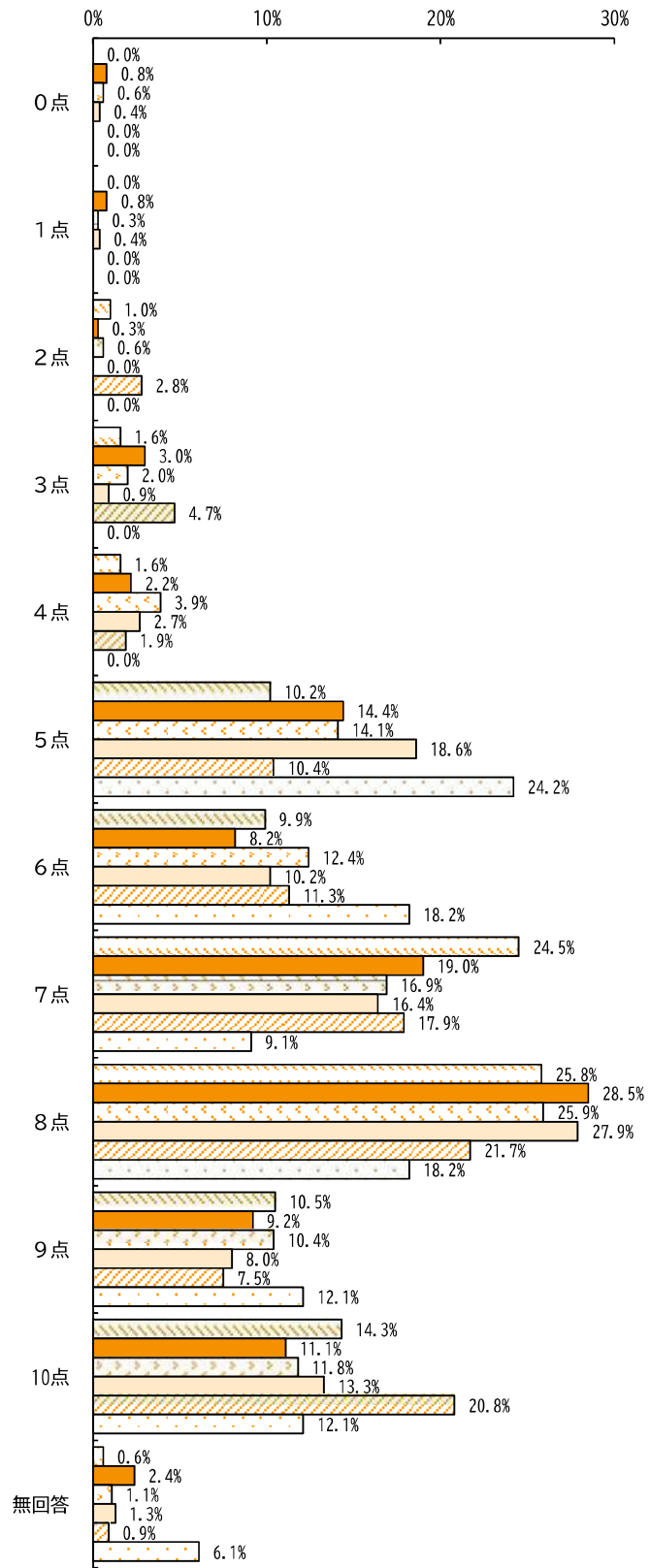
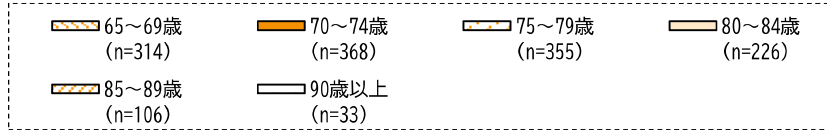
回 答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
とても不幸 0点	6	0.4%	8	0.6%
1点	5	0.4%	9	0.7%
2点	9	0.6%	19	1.5%
3点	30	2.1%	54	4.3%
4点	35	2.5%	63	5.0%
5点	196	14.0%	280	22.3%
6点	147	10.5%	112	8.9%
7点	267	19.0%	194	15.4%
8点	370	26.3%	221	17.6%
9点	134	9.5%	110	8.8%
とても幸せ 10点	185	13.2%	118	9.4%
無回答	21	1.5%	69	5.5%
合 計	1,405	100.0%	1,257	100.0%

単純集計でみると、高齢者一般では「8点」の割合が最も高く、次いで「7点」が高くなっています。在宅要支援認定者では「5点」の割合が最も高く、次いで「8点」が高くなっています。

高齢者一般の平均値は「7.2点」、在宅要支援認定者の平均値は「6.6点」となっています。

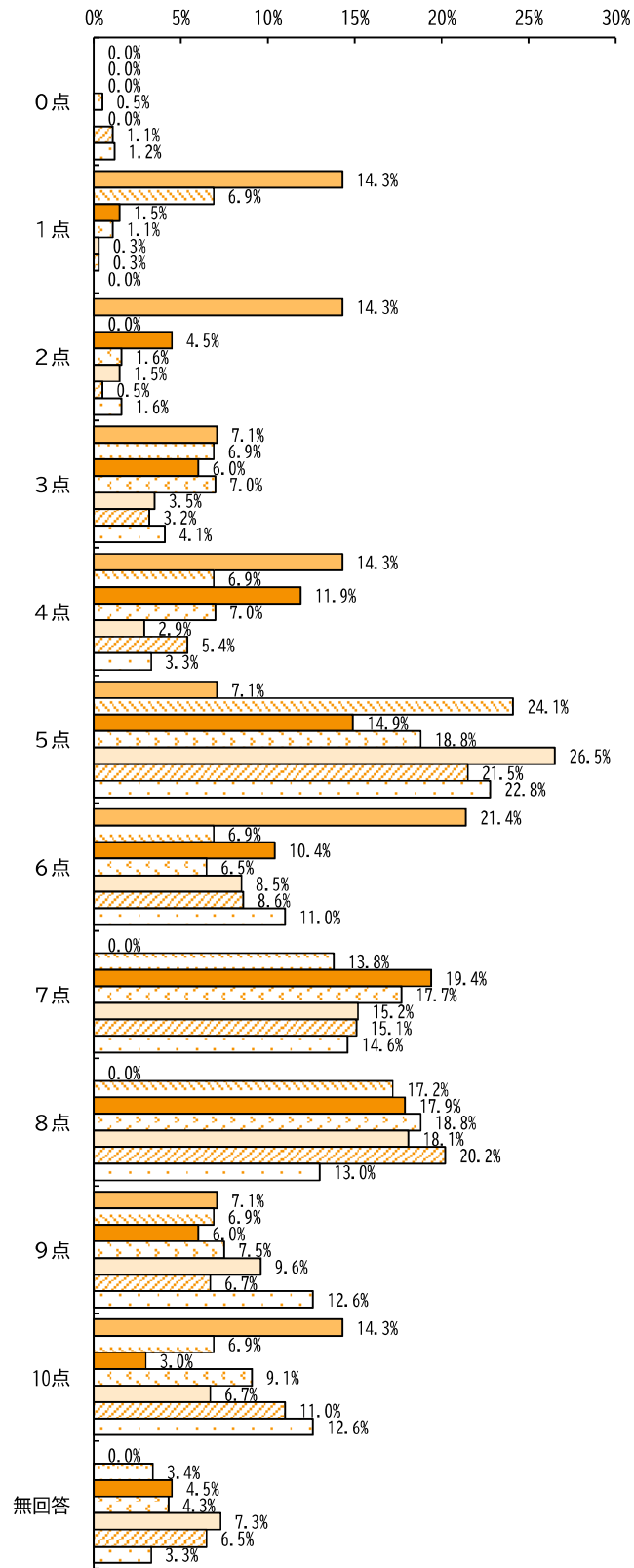
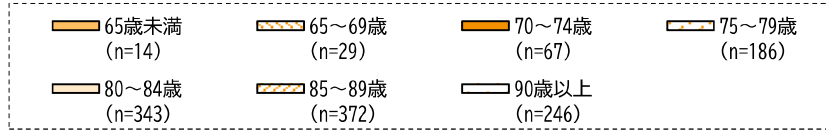
【年齢別集計】

○高齢者一般



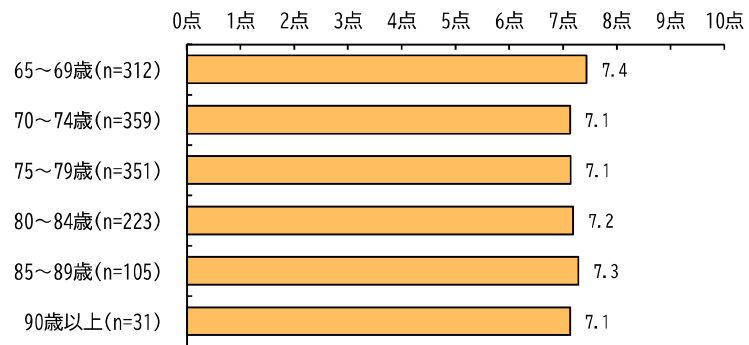
【年齢別集計】

○在宅要支援

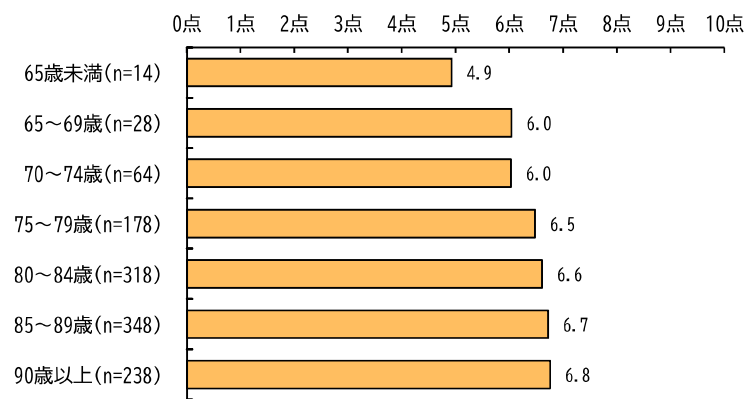


【年齢別集計（平均）】

○高齢者一般



○在宅要支援



気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになることの有無

この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。

(○はひとつ)

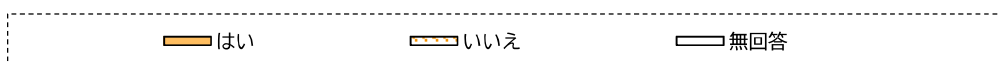
<高齢者一般調査 問38・在宅要支援認定者調査 問39>

【単純集計】

回答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
はい	513	36.5%	587	46.7%
いいえ	871	62.0%	601	47.8%
無回答	21	1.5%	69	5.5%
合計	1,405	100.0%	1,257	100.0%

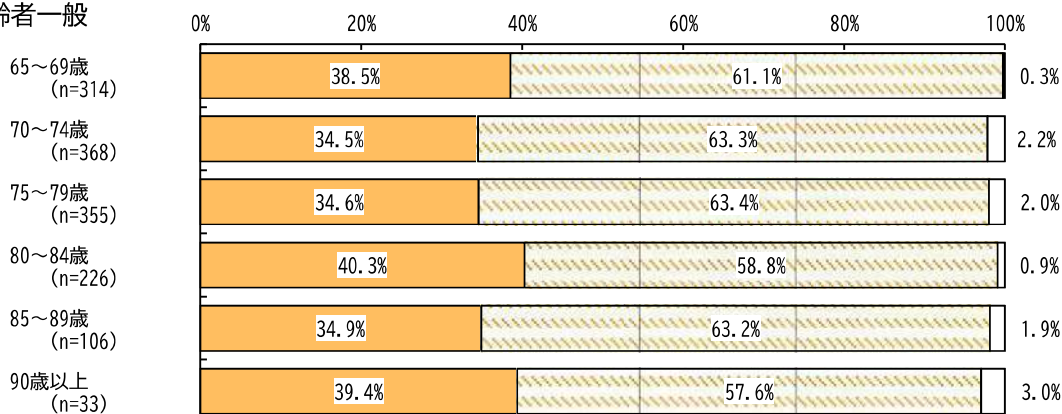
単純集計で見ると、高齢者一般では「いいえ」の割合が高く、在宅要支援認定者では「はい」と「いいえ」の割合が拮抗しています。

年齢別で見ると、在宅要支援認定者では、「はい」の割合は65歳未満が最も高くなっています。

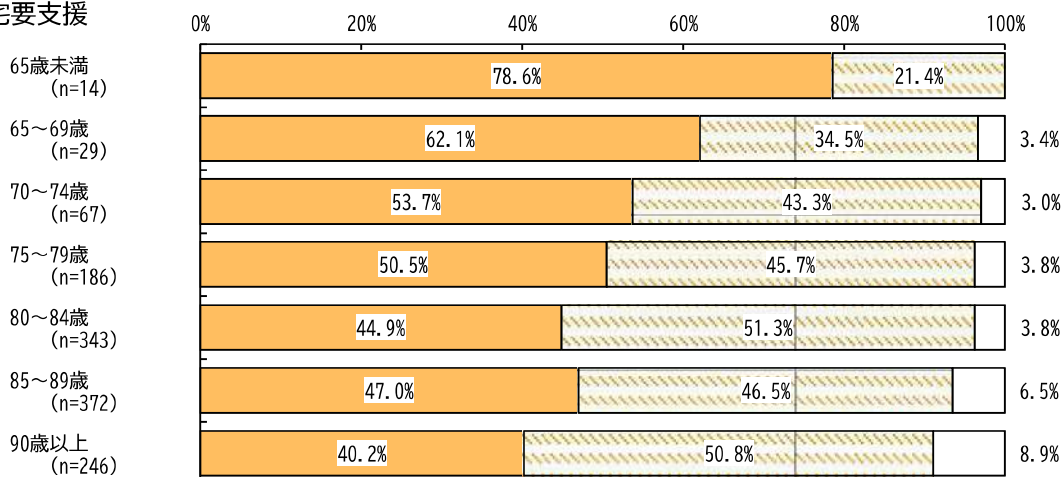


【年齢別集計】

○高齢者一般



○在宅要支援



興味がわかない、心から楽しめないことの有無

この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(○はひとつ)

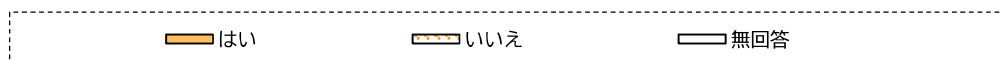
<高齢者一般調査 問39・在宅要支援認定者調査 問40>

【単純集計】

回答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
はい	274	19.5%	438	34.8%
いいえ	1,112	79.1%	755	60.1%
無回答	19	1.4%	64	5.1%
合計	1,405	100.0%	1,257	100.0%

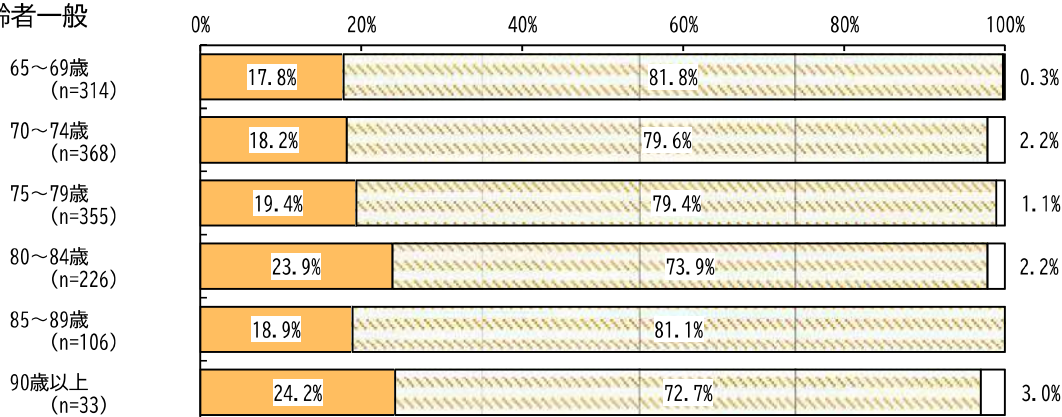
単純集計でみると、高齢者一般、在宅要支援認定者とも「いいえ」が高くなっています。

年齢別でみると、在宅要支援認定者では、「はい」の割合は65歳未満が最も高くなっています。

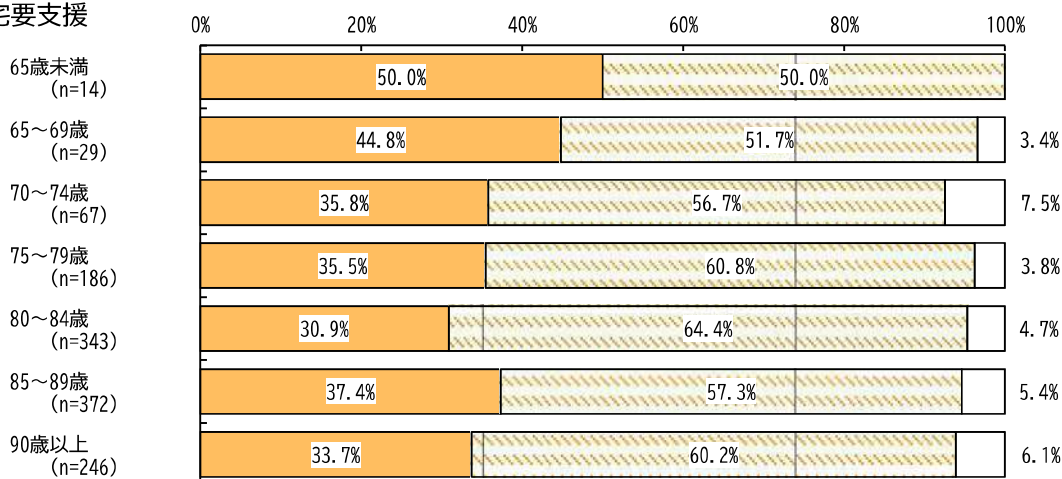


【年齢別集計】

○高齢者一般



○在宅要支援



喫煙状況

タバコは吸っていますか。(○はひとつ)

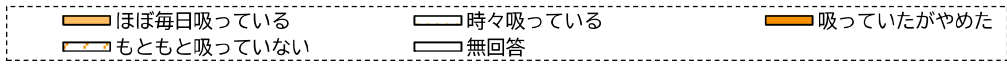
<高齢者一般調査 問40・在宅要支援認定者調査 問41>

【単純集計】

回 答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
ほぼ毎日吸っている	98	7.0%	48	3.8%
時々吸っている	11	0.8%	9	0.7%
吸っていたがやめた	434	30.9%	334	26.6%
もともと吸っていない	847	60.3%	841	66.9%
無回答	15	1.1%	25	2.0%
合 計	1,405	100.0%	1,257	100.0%

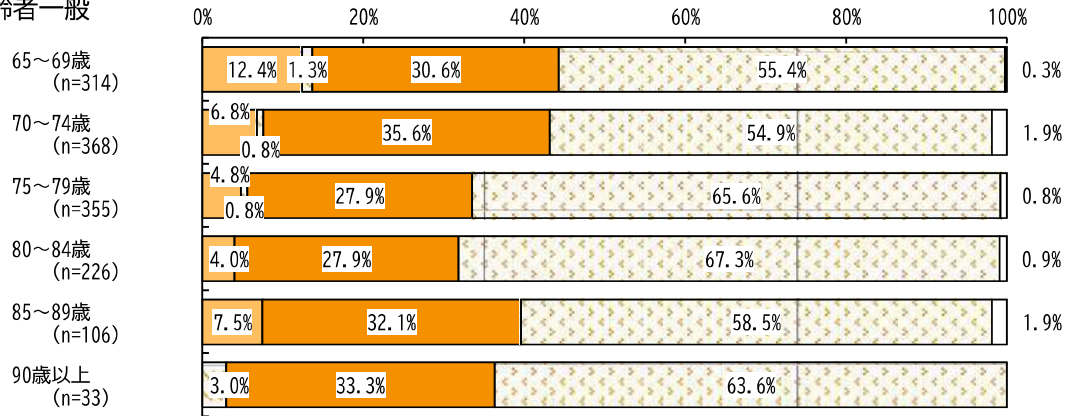
単純集計でみると、高齢者一般、在宅要支援認定者ともに「もともと吸っていない」が高くなっています。

年齢別でみると、高齢者一般、在宅要支援認定者ともに、年齢が高くなるにつれて「ほぼ毎日吸っている」の割合が低くなっています。

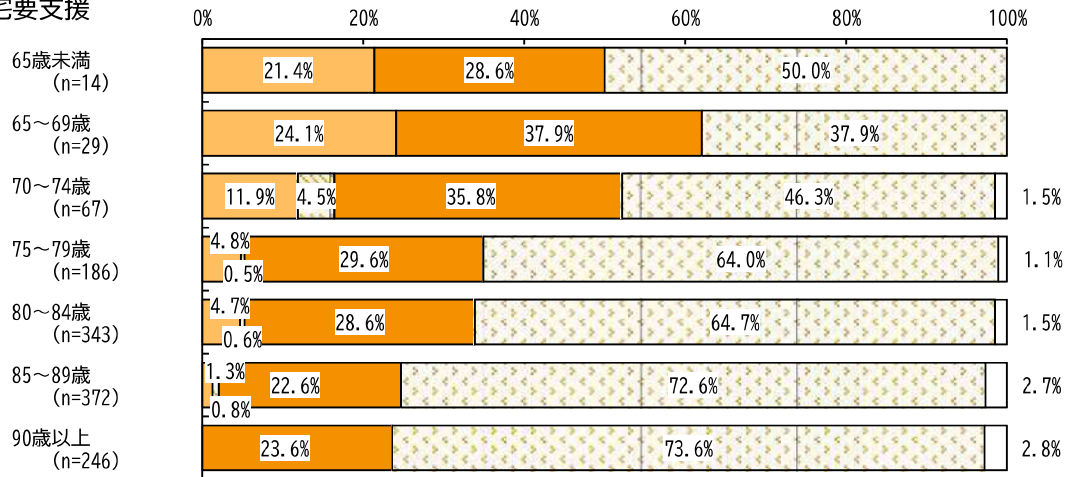


【年齢別集計】

○高齢者一般



○在宅要支援



治療中、または後遺症のある病気

現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(○はいくつでも)

<高齢者一般調査 問41・在宅要支援認定者調査 問42>

【単純集計】

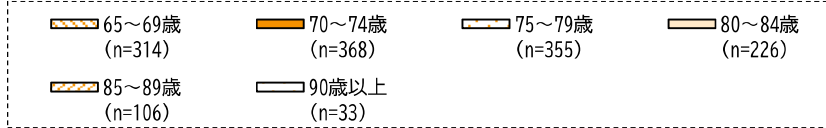
回 答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
ない	230	16.4%	66	5.3%
高血圧	611	43.5%	681	54.2%
脳卒中（脳出血・脳梗塞等）	29	2.1%	121	9.6%
心臓病	111	7.9%	241	19.2%
糖尿病	188	13.4%	203	16.1%
高脂血症（脂質異常）	242	17.2%	166	13.2%
呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等）	85	6.0%	138	11.0%
胃腸・肝臓・胆のうの病気	94	6.7%	117	9.3%
腎臓・前立腺の病気	129	9.2%	206	16.4%
筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）	201	14.3%	308	24.5%
外傷（転倒・骨折等）	56	4.0%	123	9.8%
がん（悪性新生物）	74	5.3%	89	7.1%
血液・免疫の病気	36	2.6%	53	4.2%
うつ病	11	0.8%	30	2.4%
認知症（アルツハイマー病等）	12	0.9%	60	4.8%
パーキンソン病	5	0.4%	35	2.8%
目の病気	296	21.1%	353	28.1%
耳の病気	76	5.4%	161	12.8%
その他	68	4.8%	87	6.9%
無回答	46	3.3%	30	2.4%
回 答 数	1,405	-	1,257	-

単純集計でみると、高齢者一般、在宅要支援認定者ともに「高血圧」の割合が最も高く、次いで「目の病気」となっています。

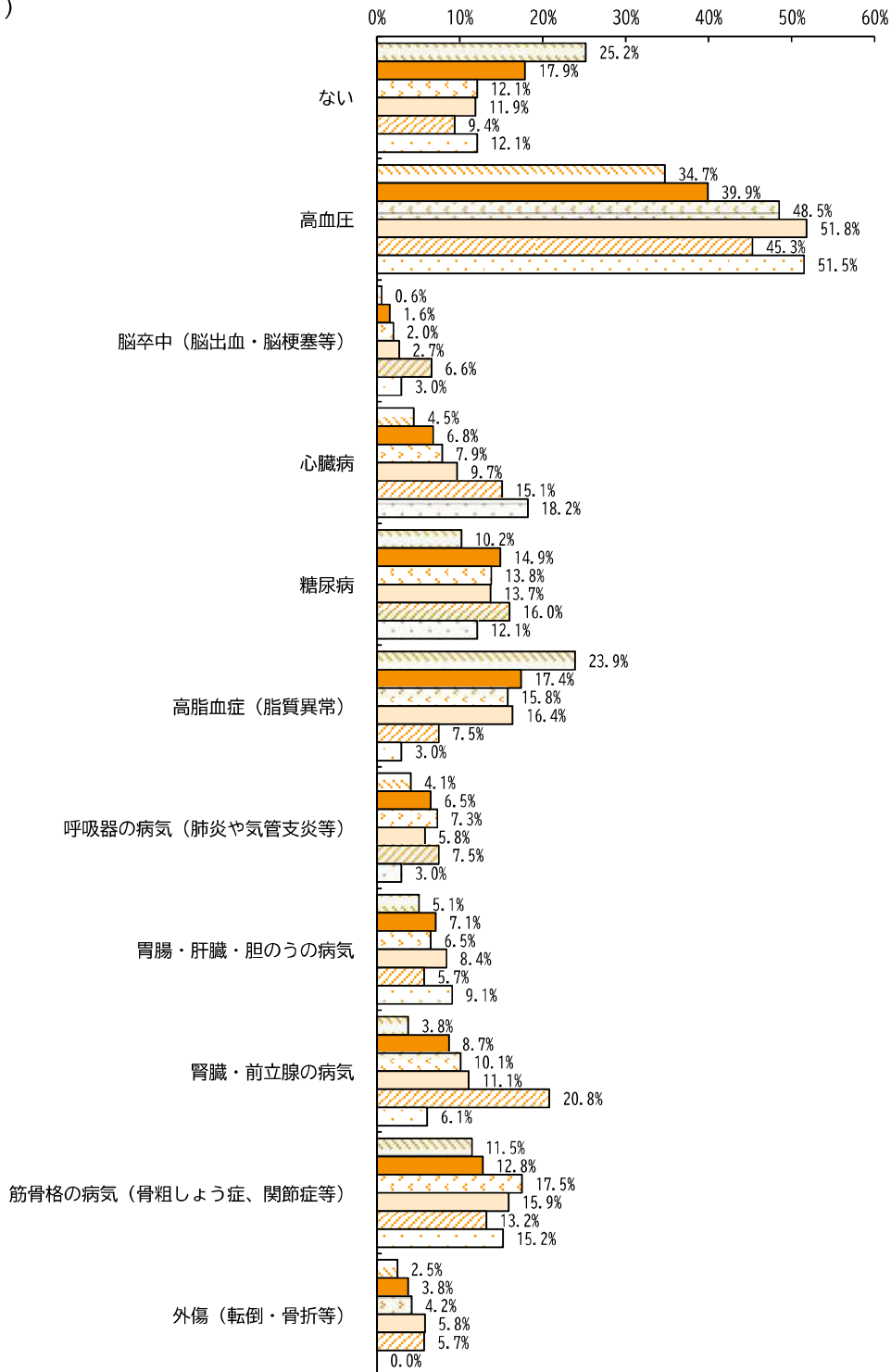
年齢別でみると、高齢者一般、在宅要支援認定者ともに、すべての年齢で「高血圧」の割合が最も高くなっています。

【年齢別集計】

○高齢者一般



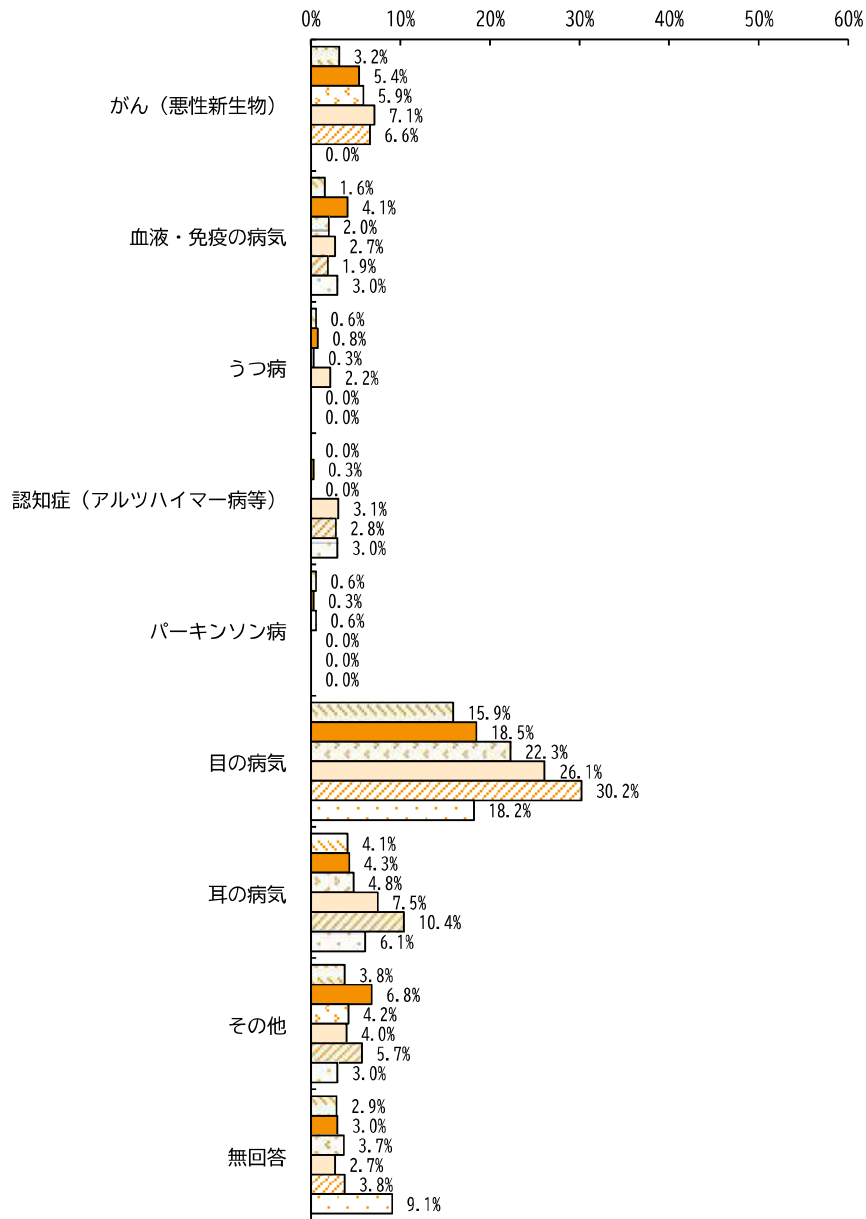
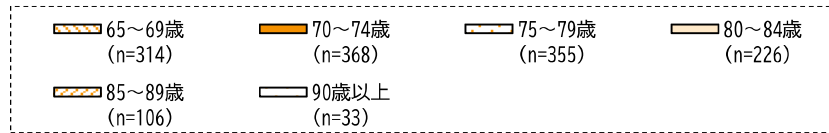
(2-1)



【年齢別集計】

○高齢者一般

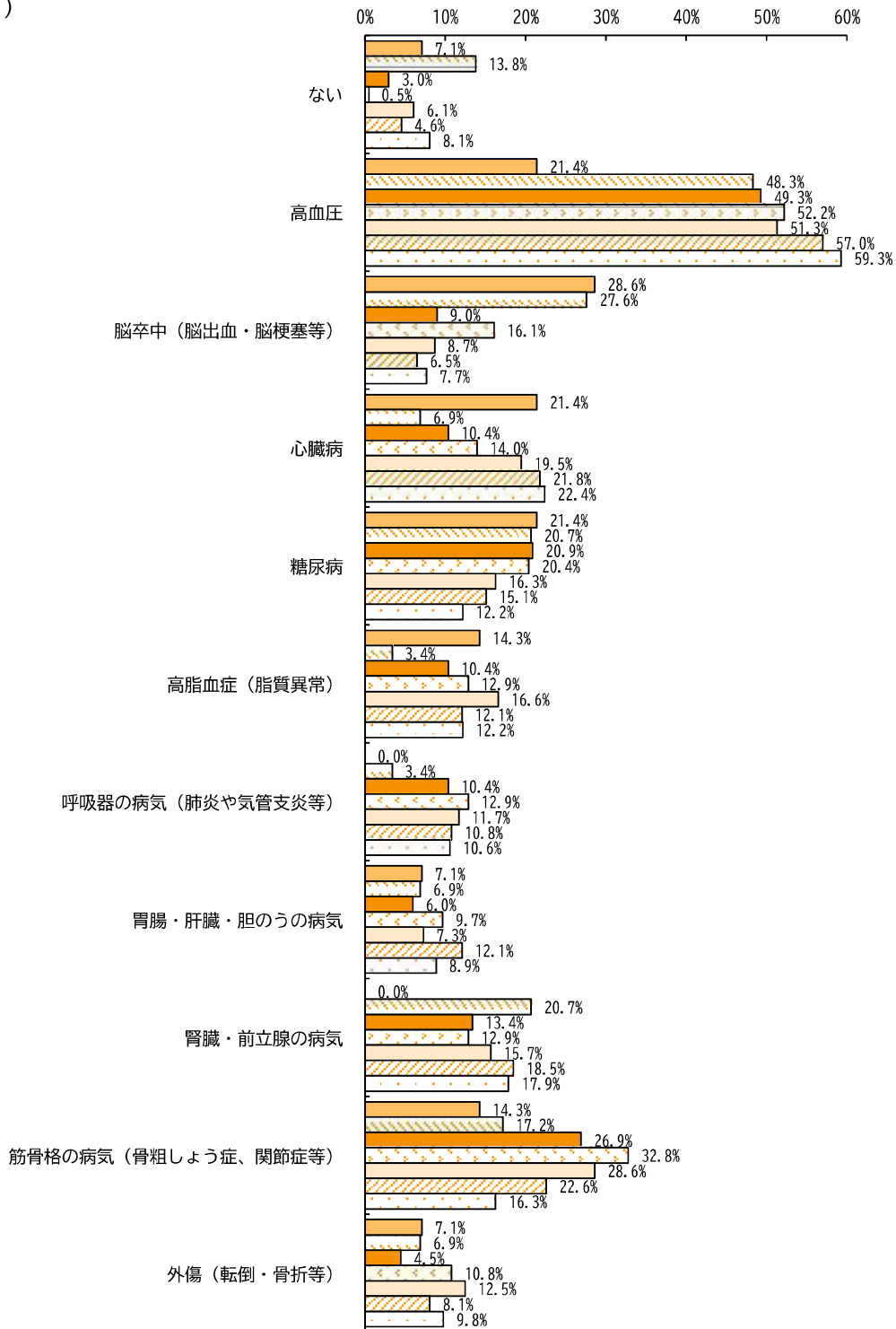
(2-2)



【年齢別集計】

○在宅要支援

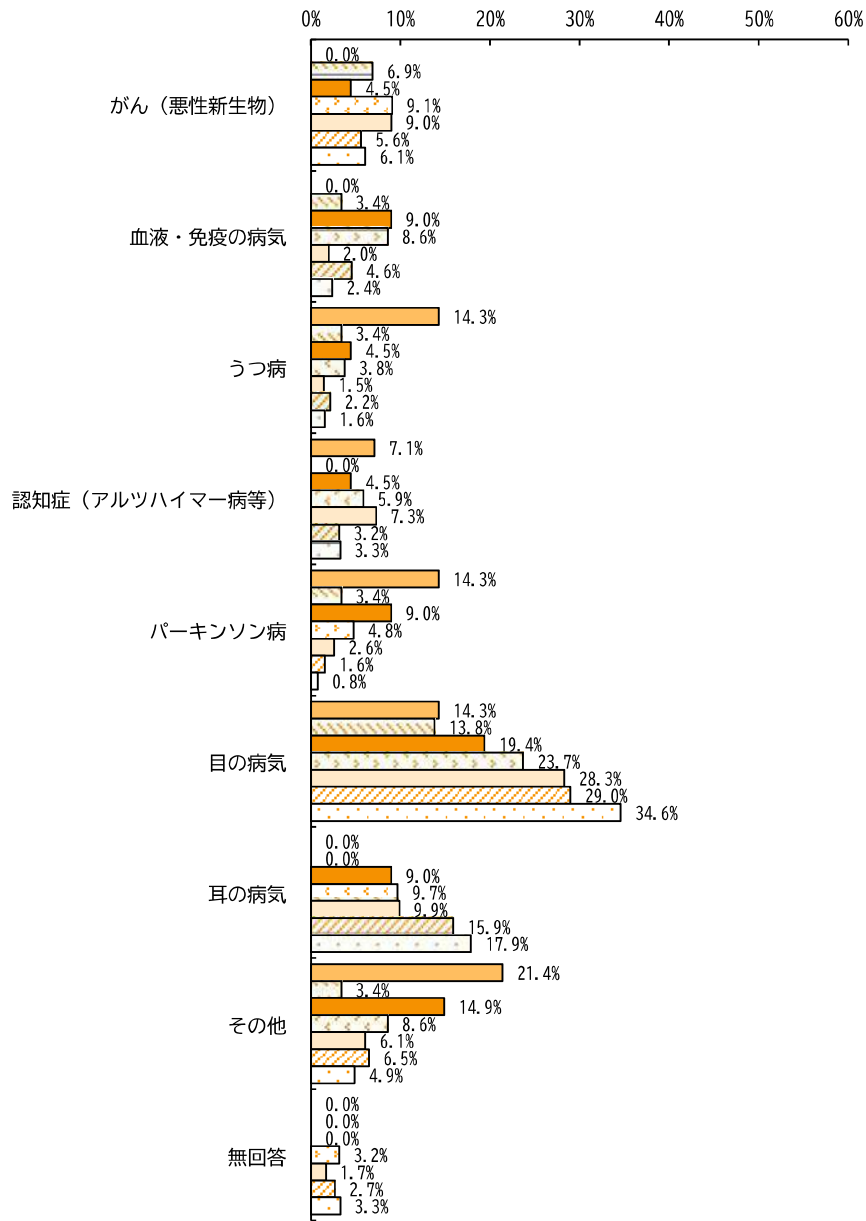
(2-1)



【年齢別集計】

○在宅要支援

(2-2)



「フレイル」の認知

「フレイル」という言葉を聞いたことがありますか。(〇はひとつ)

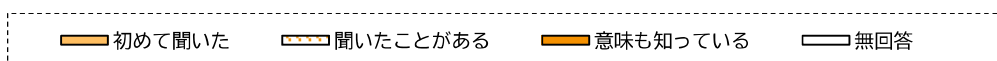
<高齢者一般調査 問42・在宅要支援認定者調査 問43>

【単純集計】

回答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
初めて聞いた	631	44.9%	644	51.2%
聞いたことがある	396	28.2%	374	29.8%
意味も知っている	260	18.5%	183	14.6%
無回答	118	8.4%	56	4.5%
合計	1,405	100.0%	1,257	100.0%

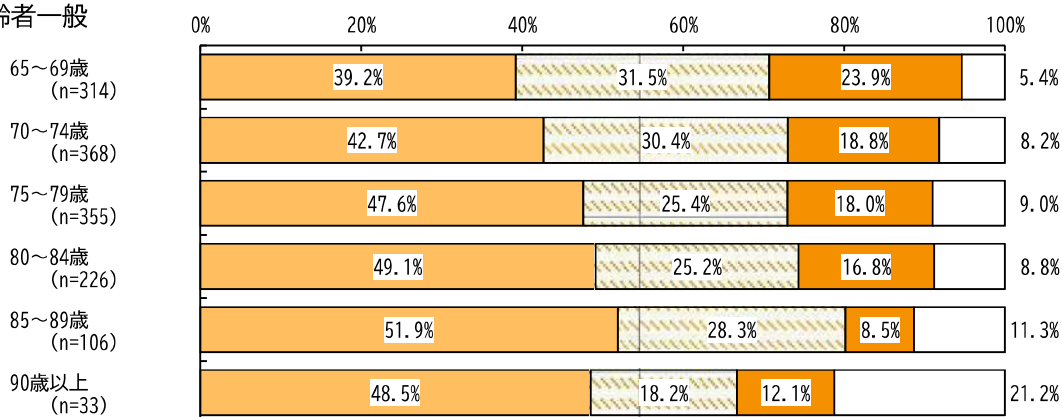
単純集計でみると、高齢者一般、在宅要支援認定者ともに「初めて聞いた」の割合が最も高くなっています。

年齢別でみると、「聞いた事がある」「意味も知っている」を合わせた割合は、高齢者一般では65～69歳、在宅要支援認定者では65歳未満が最も高くなっています。

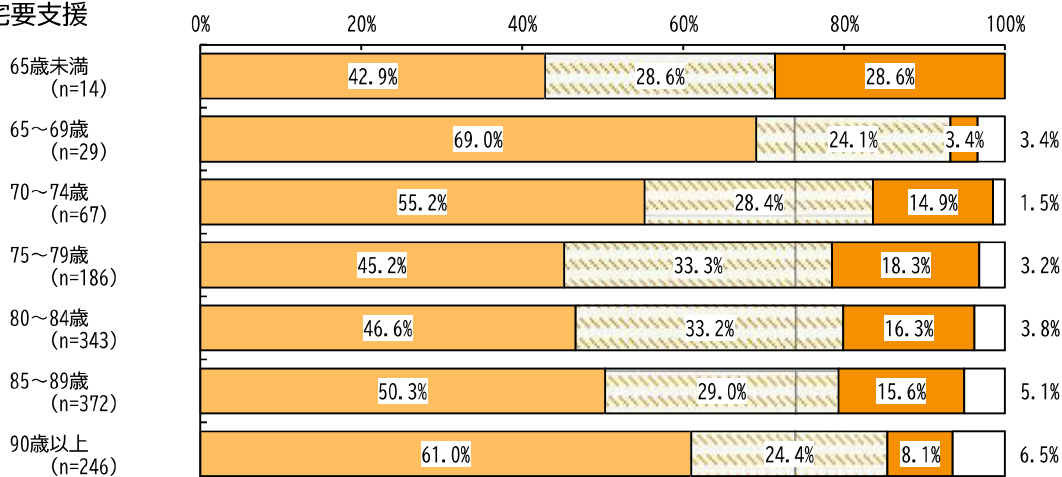


【年齢別集計】

○高齢者一般



○在宅要支援



ロコトレへの取り組み状況

浜松市では、介護予防のためロコモーショントレーニング（通称：ロコトレ）の取り組みを推進しています。あなたのロコトレへの取り組み状況についてお聞かせください。（○はひとつ）

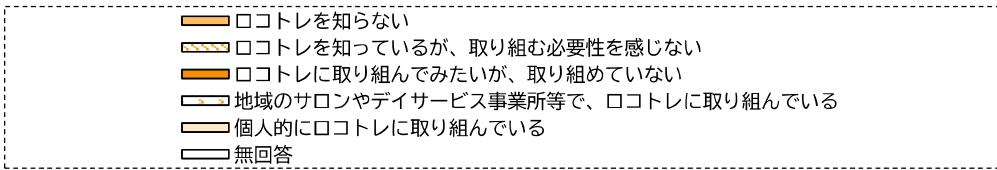
<高齢者一般調査 問43・在宅要支援認定者調査 問44>

【単純集計】

回 答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
ロコトレを知らない	877	62.4%	636	50.6%
ロコトレを知っているが、取り組む必要性を感じない	178	12.7%	69	5.5%
ロコトレに取り組んでみたいが、取り組めていない	118	8.4%	106	8.4%
地域のサロンやデイサービス事業所等で、ロコトレに取り組んでいる	77	5.5%	308	24.5%
個人的にロコトレに取り組んでいる	114	8.1%	76	6.0%
無回答	41	2.9%	62	4.9%
合 計	1,405	100.0%	1,257	100.0%

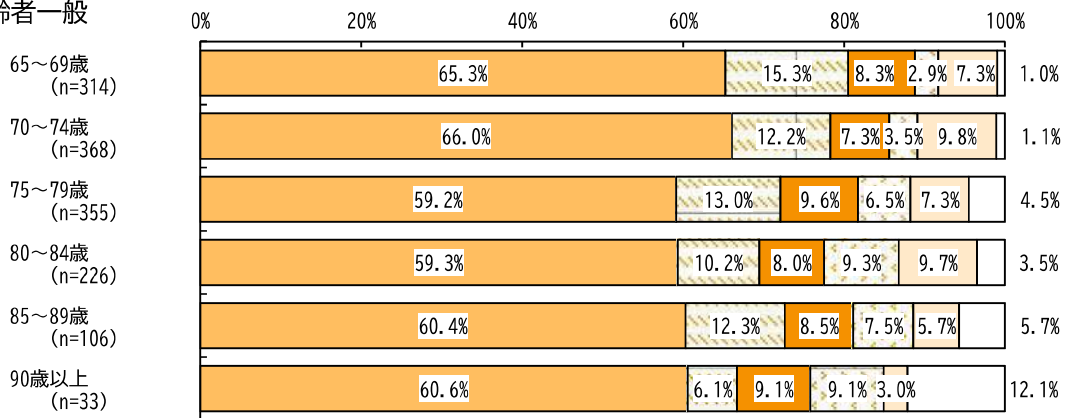
単純集計でみると、高齢者一般、在宅要支援認定者ともに「ロコトレを知らない」の割合が最も高くなっています。

年齢別でみると、「地域のサロンやデイサービス事業所等で、ロコトレに取り組んでいる」と「個人的にロコトレに取り組んでいる」を合わせた割合は、高齢者一般では80～84歳以上、在宅要支援認定者では75歳以上で割合が高くなっています。

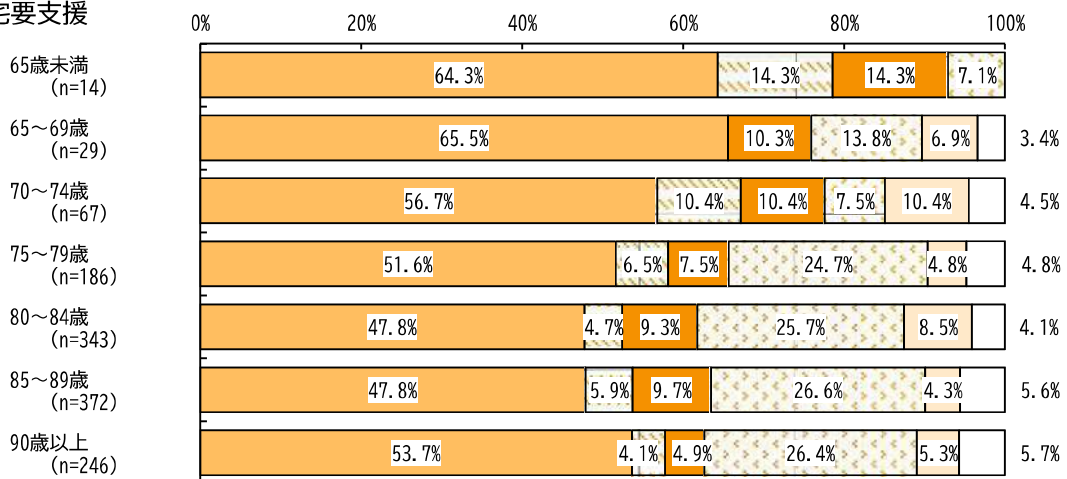


【年齢別集計】

○高齢者一般



○在宅要支援



補聴器の使用有無

補聴器を使用していますか。(○はひとつ)

< 高齢者一般調査 問44・在宅要支援認定者調査 問45・在宅要介護認定者調査 問6 >

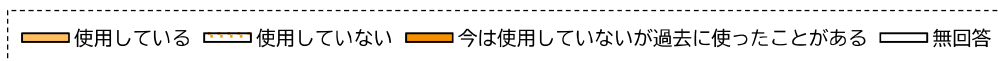
【単純集計】

回答	高齢者一般		在宅要支援		在宅要介護	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
使用している	83	5.9%	207	16.5%	135	12.0%
使用していない	1,279	91.0%	995	79.2%	916	81.6%
今は使用していないが過去に使ったことがある	20	1.4%	26	2.1%	63	5.6%
無回答	23	1.6%	29	2.3%	8	0.7%
合計	1,405	100.0%	1,257	100.0%	1,122	100.0%

単純集計でみると、高齢者一般、在宅要支援認定者、在宅要介護認定者ともに「使用していない」の割合が最も高くなっています。

性別でみると、大きな差はみられません。

年齢別でみると、高齢者一般、在宅要支援認定者、在宅要介護認定者とも「使用している」の割合は年齢が高くなるにつれて増加傾向にあります。



【性別集計】

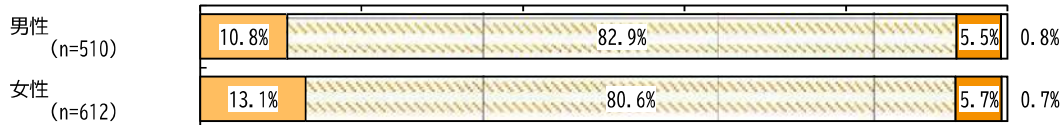
○ 高齢者一般

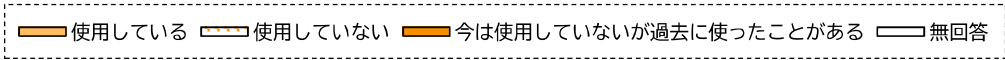


○ 在宅要支援



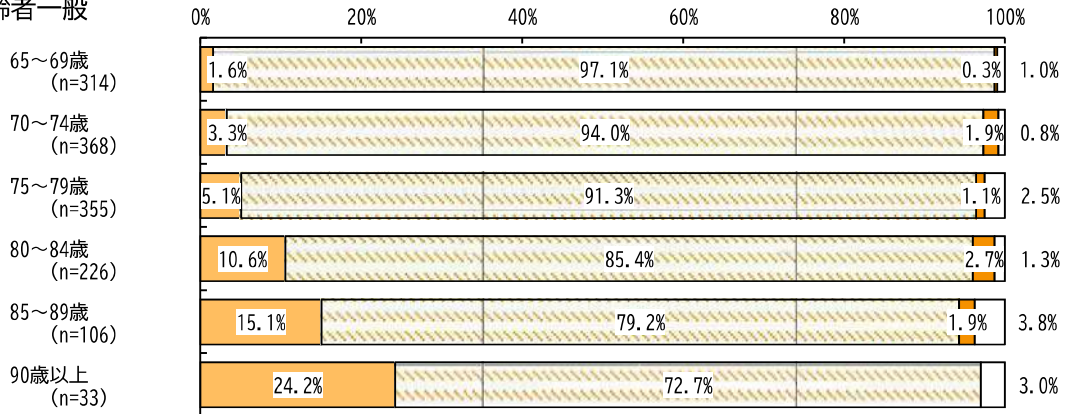
○ 在宅要介護



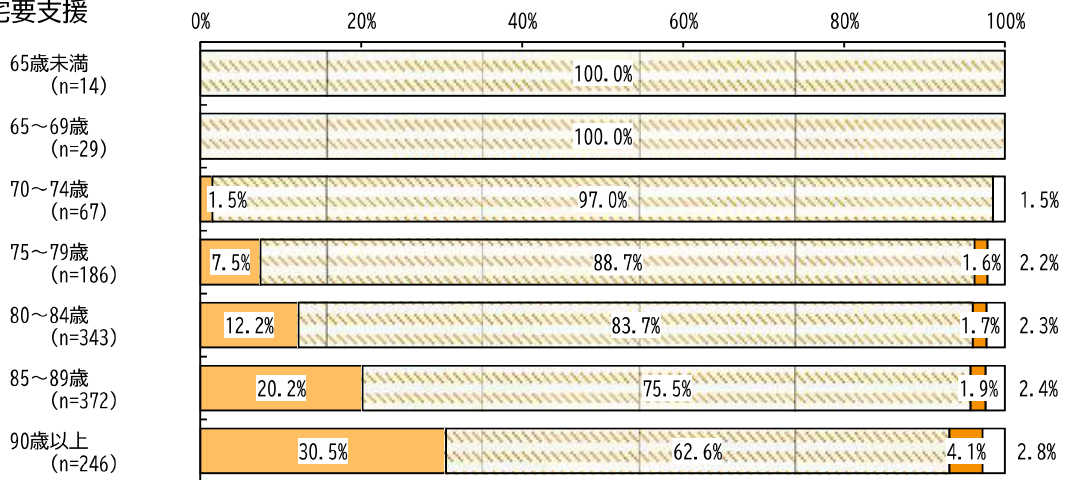


【年齢別集計】

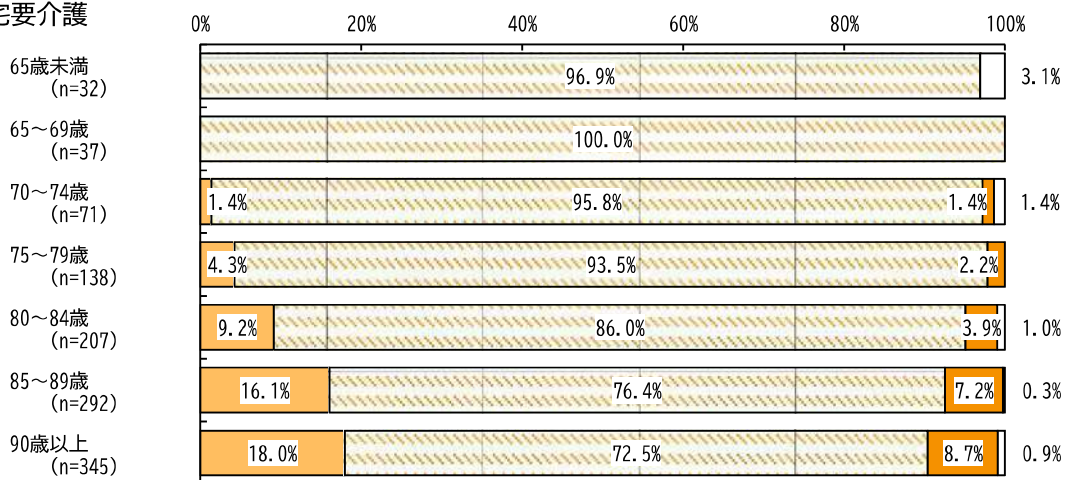
○高齢者一般



○在宅要支援



○在宅要介護



補聴器を使用した感想

補聴器を使用して、どのような感想を持っていますか。(〇はいくつでも)

<高齢者一般調査 問45・在宅要支援認定者調査 問46>

【単純集計】

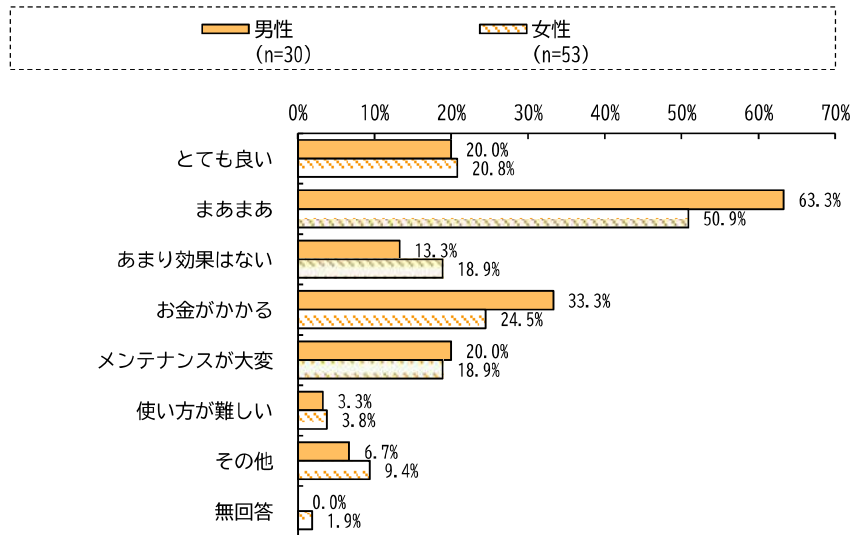
回 答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
とても良い	17	20.5%	61	29.5%
まあまあ	46	55.4%	95	45.9%
あまり効果はない	14	16.9%	34	16.4%
お金がかかる	23	27.7%	67	32.4%
メンテナンスが大変	16	19.3%	39	18.8%
使い方が難しい	3	3.6%	17	8.2%
その他	7	8.4%	14	6.8%
無回答	1	1.2%	1	0.5%
回 答 数	83	-	207	-

単純集計でみると、高齢者一般、在宅要支援認定者ともに「まあまあ」の割合が最も高くなっています。

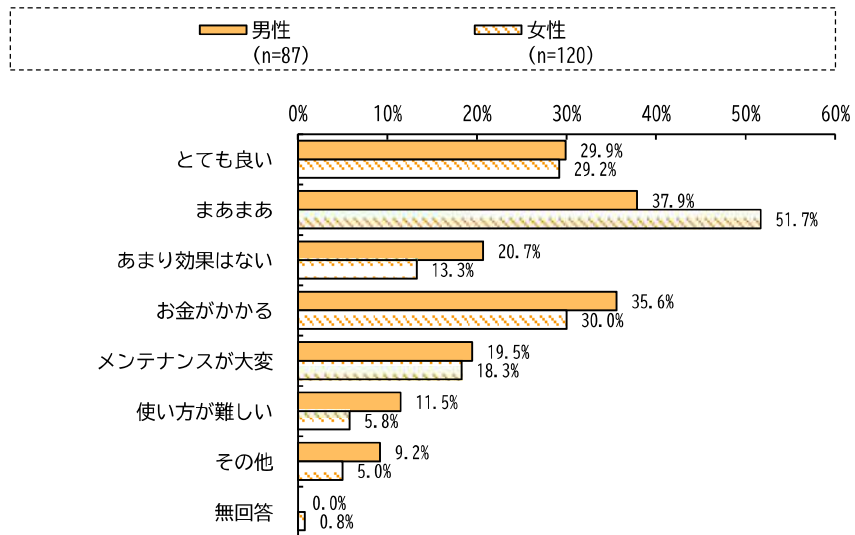
性別でみると、男女とも「まあまあ」の割合が最も高くなっています。

【性別集計】

○高齢者一般



○在宅要支援



補聴器を使用していない理由

補聴器を使用していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

<高齢者一般調査 問46・在宅要支援認定者調査 問47>

【単純集計】

回 答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
必要性を感じない	1,145	88.1%	766	75.0%
使いづらい	35	2.7%	62	6.1%
わずらわしい	62	4.8%	117	11.5%
ノイズがうるさい	23	1.8%	50	4.9%
付けても元の聞こえには戻らない	16	1.2%	39	3.8%
メンテナンスが大変そう	20	1.5%	38	3.7%
お金がかかる	67	5.2%	115	11.3%
恥ずかしい	12	0.9%	9	0.9%
その他	21	1.6%	30	2.9%
無回答	29	2.2%	47	4.6%
回 答 数	1,299	-	1,021	-

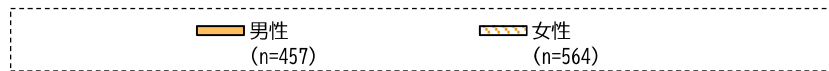
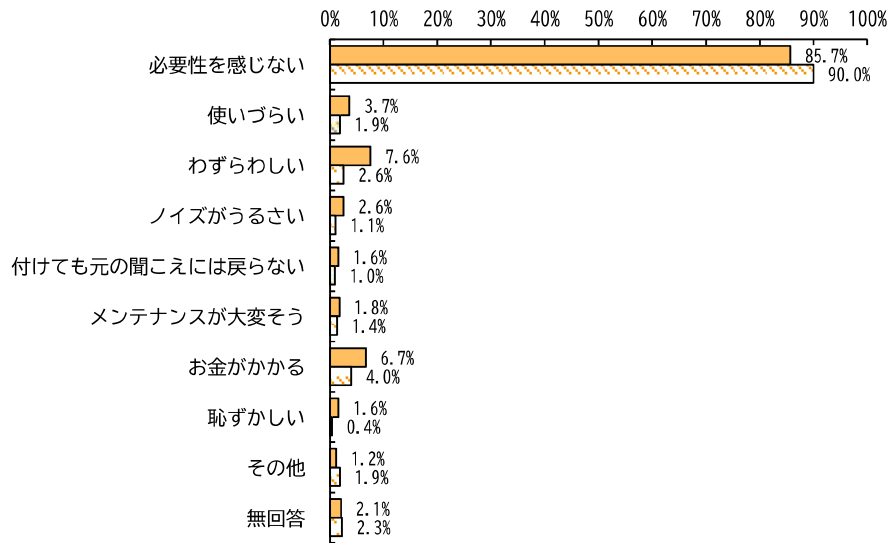
単純集計でみると、高齢者一般、在宅要支援認定者ともに「必要性を感じない」の割合が最も高くなっています。

性別でみると、男女とも「必要性を感じない」の割合が最も高くなっています。

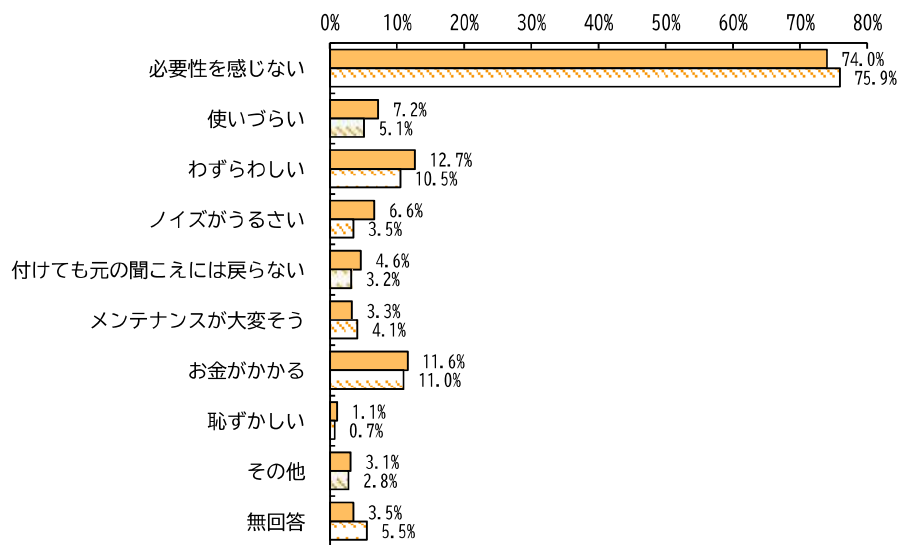
【性別集計】



○高齢者一般



○在宅要支援



認知症の症状がある、又は家族で認知症の症状のある人の有無

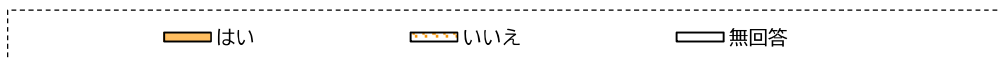
認知症の症状がある又は家族に認知症の症状のある人がいますか。(○はひとつ)

<高齢者一般調査 問52・在宅要支援認定者調査 問48>

【単純集計】

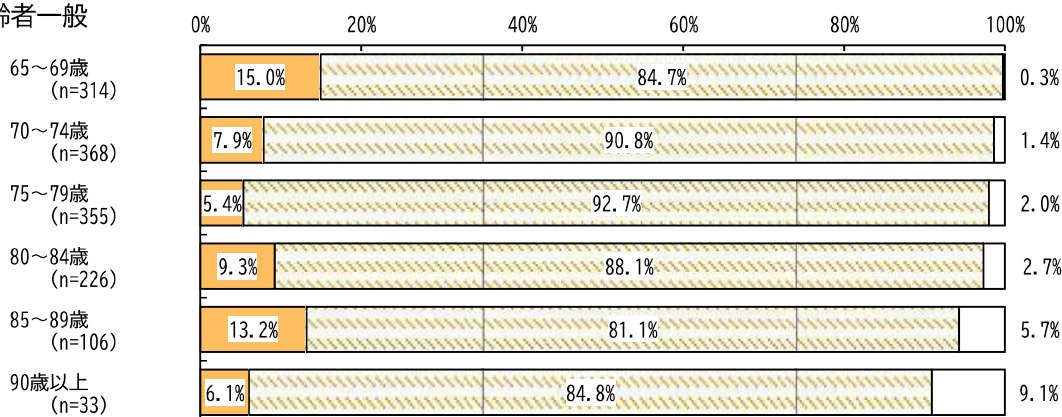
回答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
はい	132	9.4%	247	19.6%
いいえ	1,245	88.6%	973	77.4%
無回答	28	2.0%	37	2.9%
合計	1,405	100.0%	1,257	100.0%

単純集計でみると、高齢者一般、在宅要支援認定者ともに「いいえ」の割合が高くなっています。
年齢別でみると、高齢者一般、在宅要支援認定者ともにすべての年齢で「いいえ」の割合のほうが高くなっています。

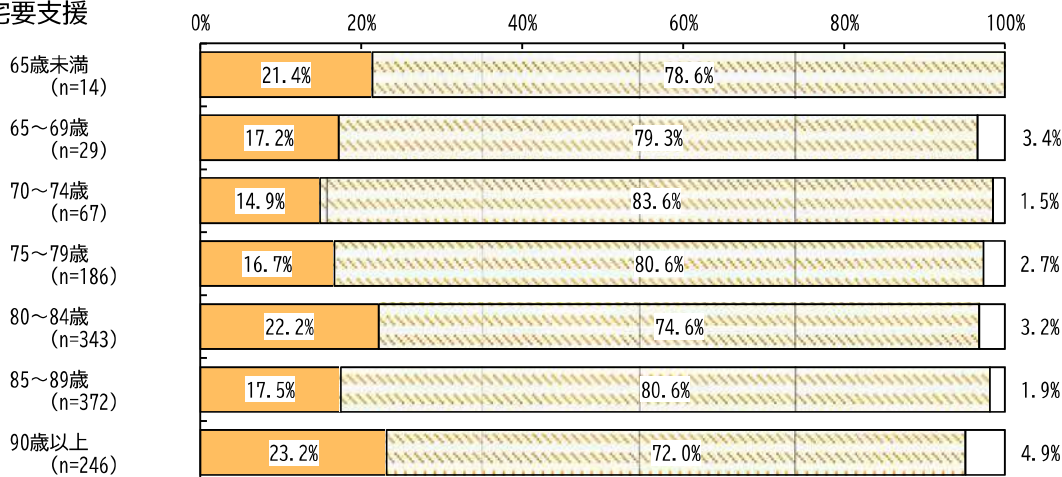


【年齢別集計】

○高齢者一般



○在宅要支援



認知症相談窓口の認知

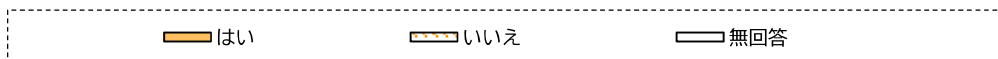
認知症に関する相談窓口を知っていますか。(○はひとつ)

<高齢者一般調査 問53・在宅要支援認定者調査 問49>

【単純集計】

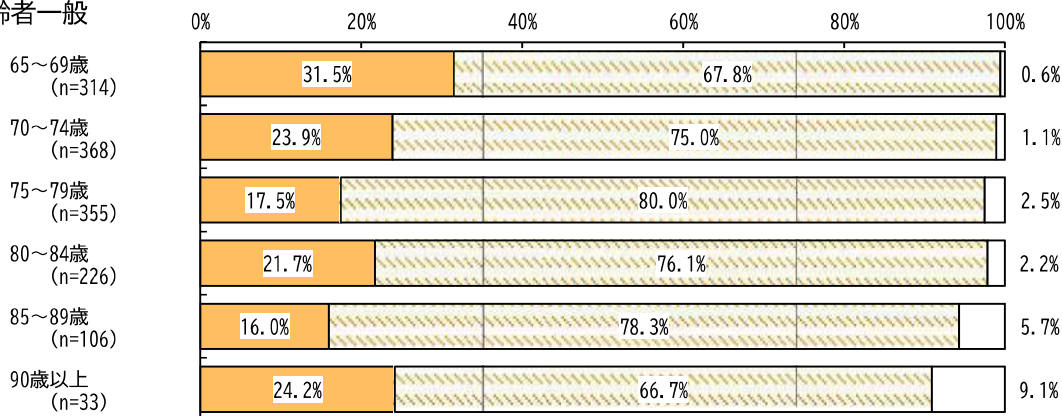
回答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
はい	324	23.1%	341	27.1%
いいえ	1,052	74.9%	861	68.5%
無回答	29	2.1%	55	4.4%
合計	1,405	100.0%	1,257	100.0%

単純集計でみると、高齢者一般、在宅要支援認定者ともに「いいえ」の割合が高くなっています。
 年齢別でみると、高齢者一般、在宅要支援認定者ともにすべての年齢で「いいえ」の割合のほうが高くなっています。

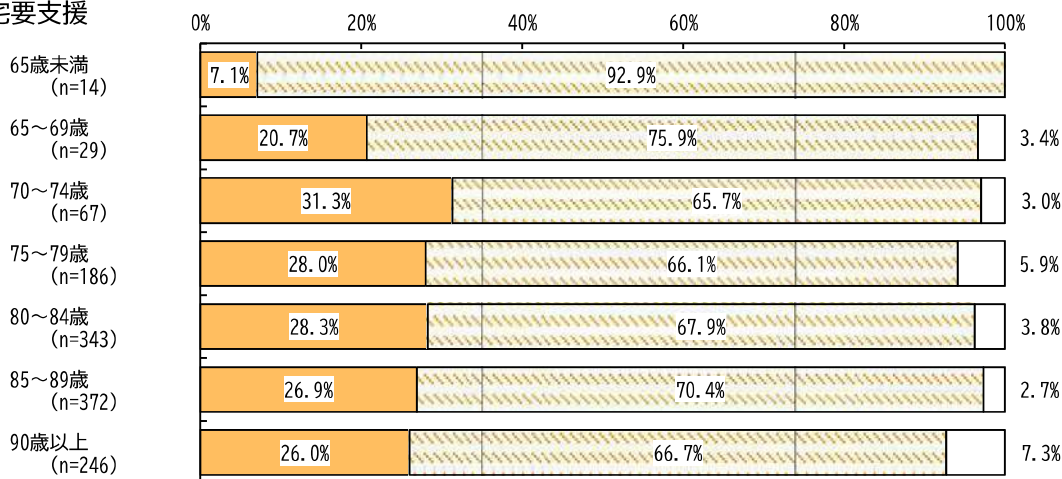


【年齢別集計】

○高齢者一般



○在宅要支援



認知症の人が自分らしく暮らしていると思うか

あなたは、今の社会で認知症の人が自分らしく暮らしていると思いますか。(○はひとつ)

<高齢者一般調査 問54・在宅要支援認定者調査 問50>

【単純集計】

回 答	高齢者一般		在宅要支援	
	件数	割合	件数	割合
そう思う	24	1.7%	54	4.3%
どちらかと言えばそう思う	120	8.5%	151	12.0%
どちらとも言えない	704	50.1%	572	45.5%
どちらかと言えばそう思わない	270	19.2%	204	16.2%
そう思わない	222	15.8%	189	15.0%
無回答	65	4.6%	87	6.9%
合 計	1,405	100.0%	1,257	100.0%

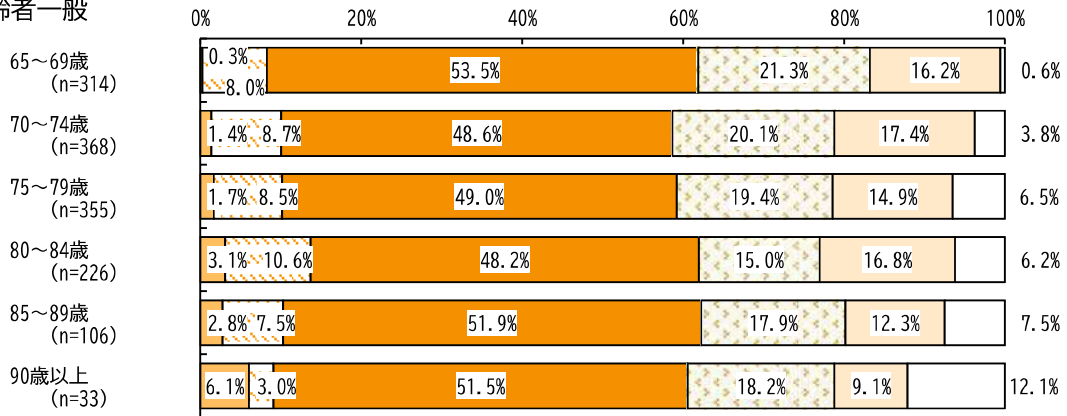
単純集計でみると、高齢者一般、在宅要支援認定者ともに「どちらとも言えない」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」を合わせた割合は、すべての年齢で2割を下回っています。

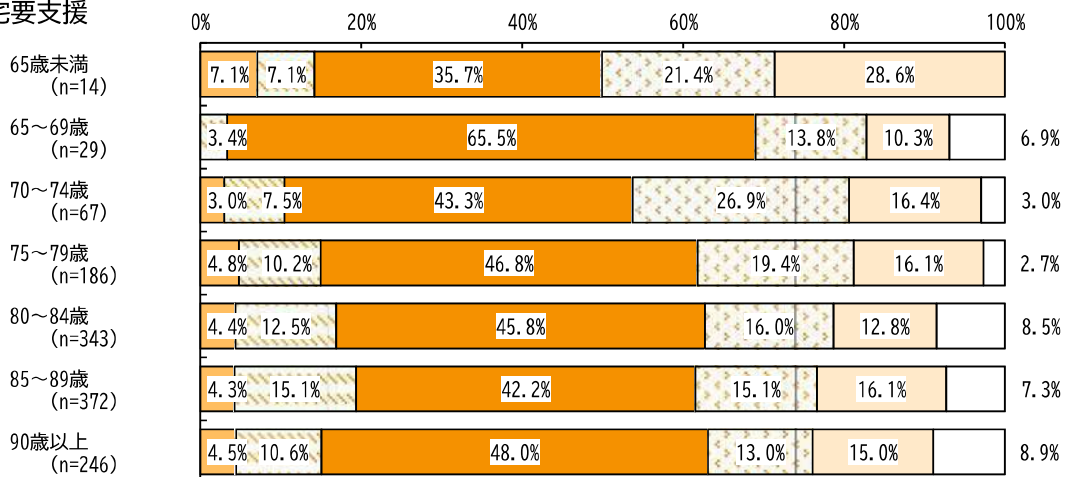


【年齢別集計】

○高齢者一般



○在宅要支援



(認知症等について)

認知症になっても地域で暮らすために必要なこと

自分や家族が認知症になっても、残された力や得意なことを活かしながら地域で暮らすためには、どのようなことが必要だと考えますか。(〇はいくつでも)

<高齢者一般調査 問55・在宅要支援認定者調査 問51・在宅要介護認定者調査 問7>

【単純集計】

回 答	高齢者一般		在宅要支援		在宅要介護	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
認知症への偏見や先入観の払拭	527	37.5%	467	37.2%	355	31.6%
認知症本人が、可能な限り自分で選択できるための 情報提供や支援体制の整備	656	46.7%	497	39.5%	476	42.4%
認知症の相談先の充実	673	47.9%	577	45.9%	581	51.8%
医療・介護サービスの提供体制の充実	658	46.8%	609	48.4%	750	66.8%
認知症当事者同士、家族同士の交流会、認知症カフェの 開催	226	16.1%	196	15.6%	170	15.2%
生活習慣（食事、運動、脳の活性化など）を改善し、 認知症発症のリスクを減らす取り組み	692	49.3%	564	44.9%	530	47.2%
企業や団体等と連携した見守り体制の確保	233	16.6%	227	18.1%	253	22.5%
無回答	68	4.8%	132	10.5%	52	4.6%
回 答 数	1,405	-	1,257	-	1,122	-

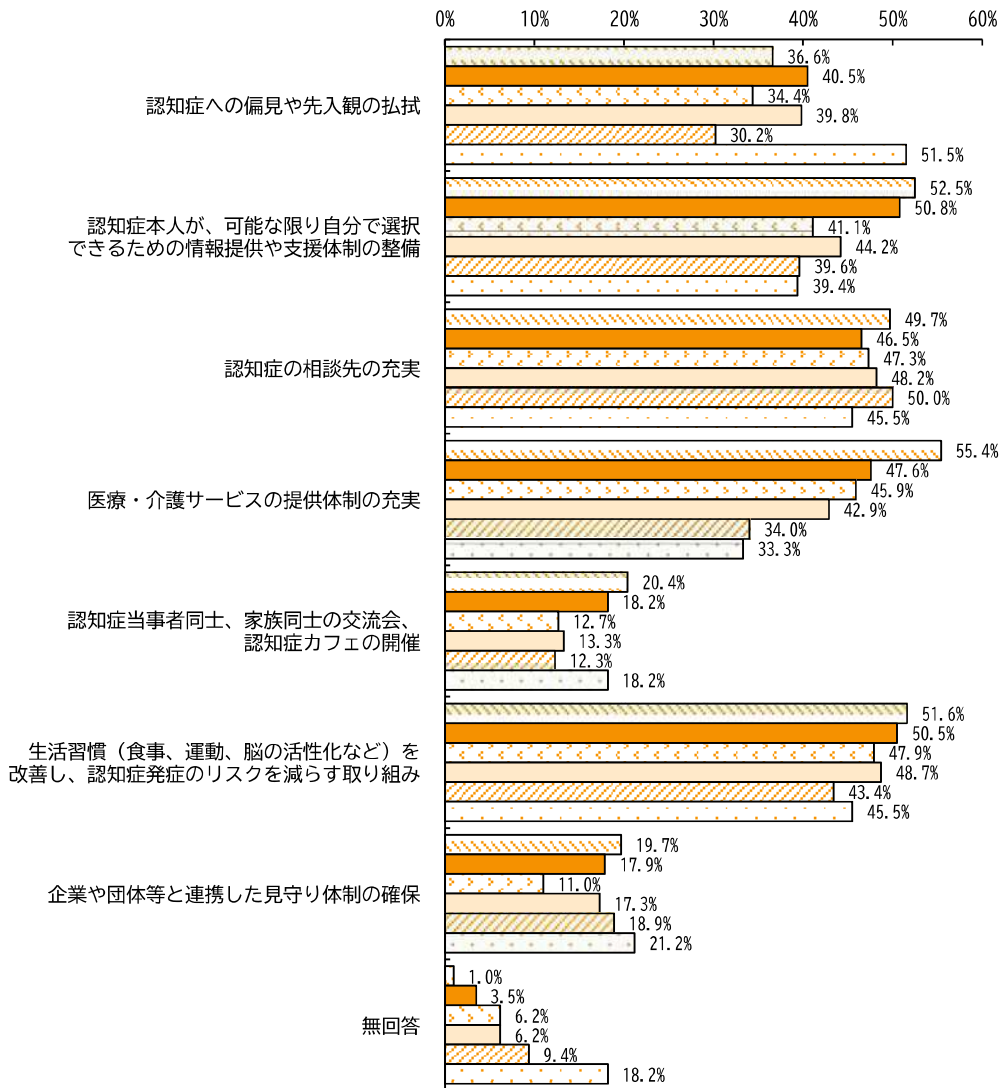
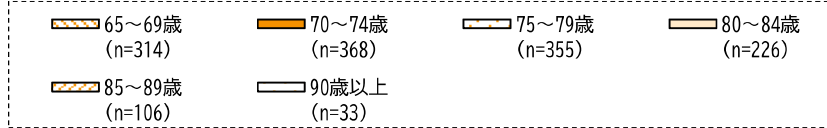
単純集計でみると、高齢者一般では「生活習慣（食事、運動、脳の活性化など）を改善し、認知症発症のリスクを減らす取り組み」の割合が最も高く、要支援認定者と在宅要支援認定者は「医療・介護サービスの提供体制の充実」の割合が最も高くなっています。

年齢別でみると、「医療・介護サービスの提供体制の充実」は、高齢者一般では年齢が高くなるにつれて低くなる一方、在宅要介護認定者では年齢が高くなるにつれて高くなる傾向がみられます。

区別でみると、「認知症の相談先の充実」と「医療・介護サービスの提供体制の充実」と回答した割合はすべての区で4割を超えて高くなっています。

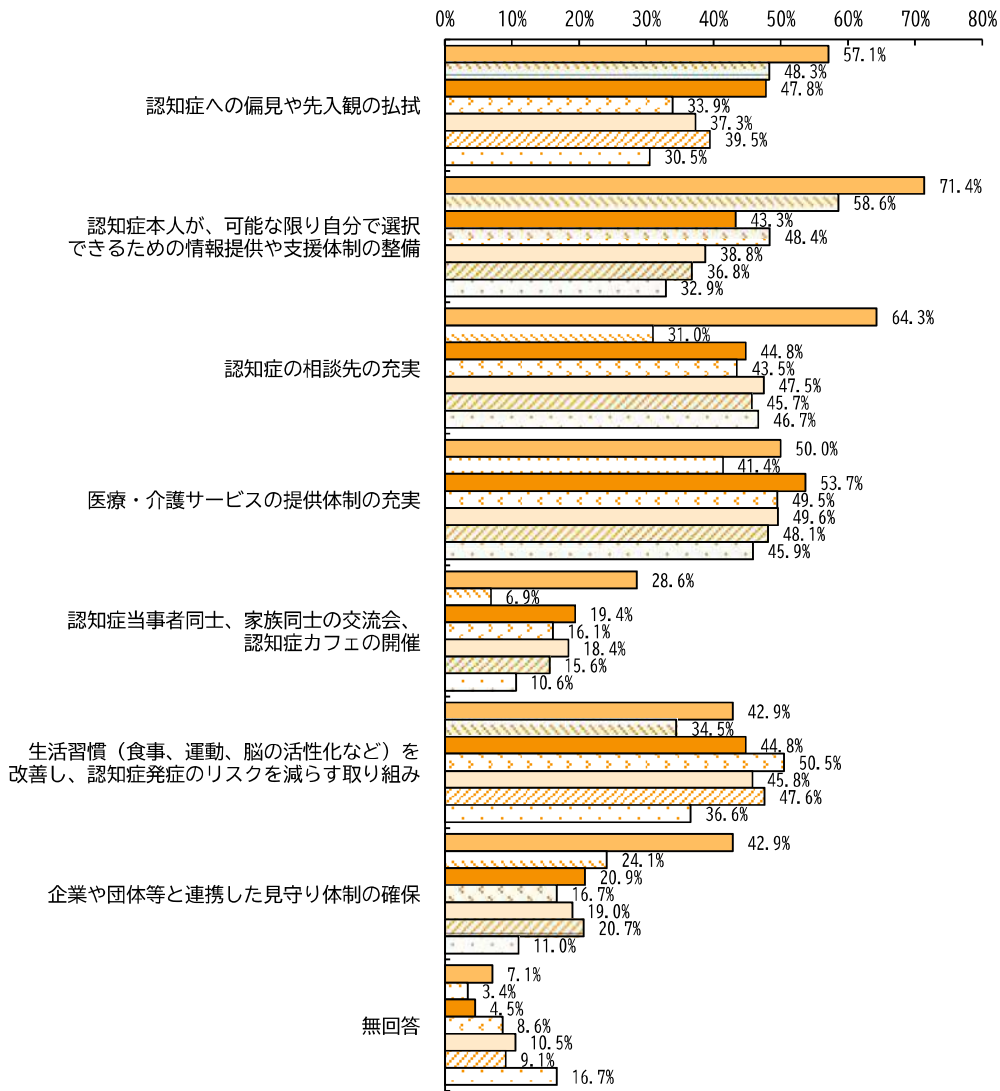
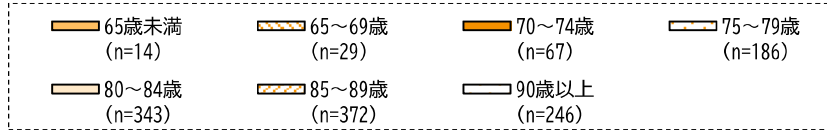
【年齢別集計】

○高齢者一般



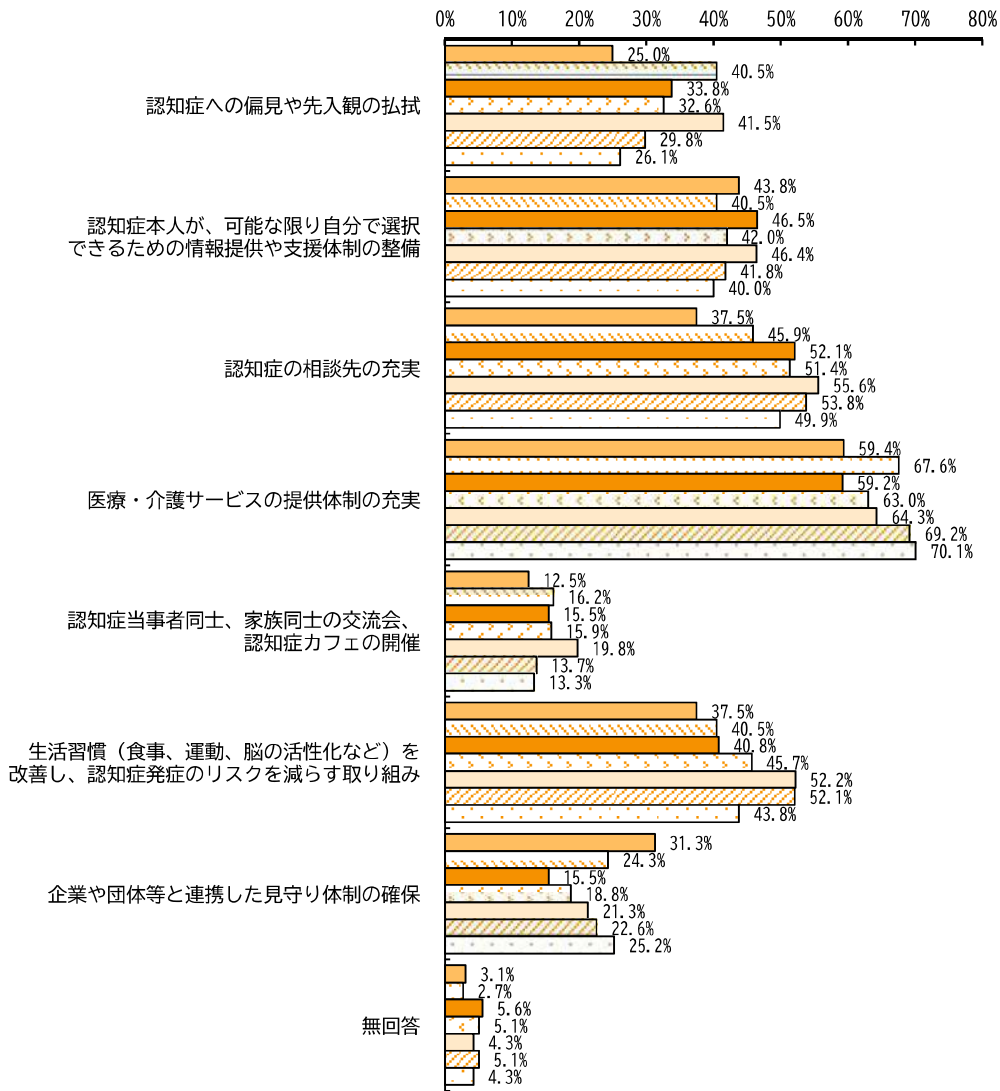
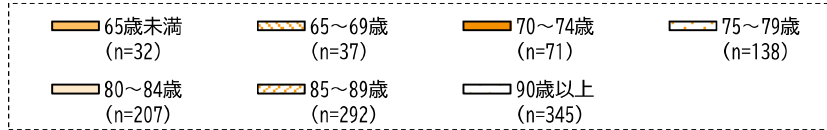
【年齢別集計】

○在宅要支援

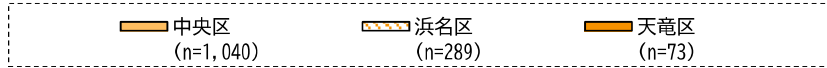


【年齢別集計】

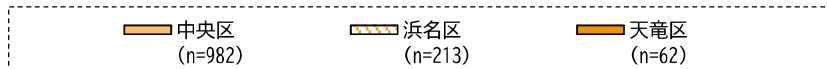
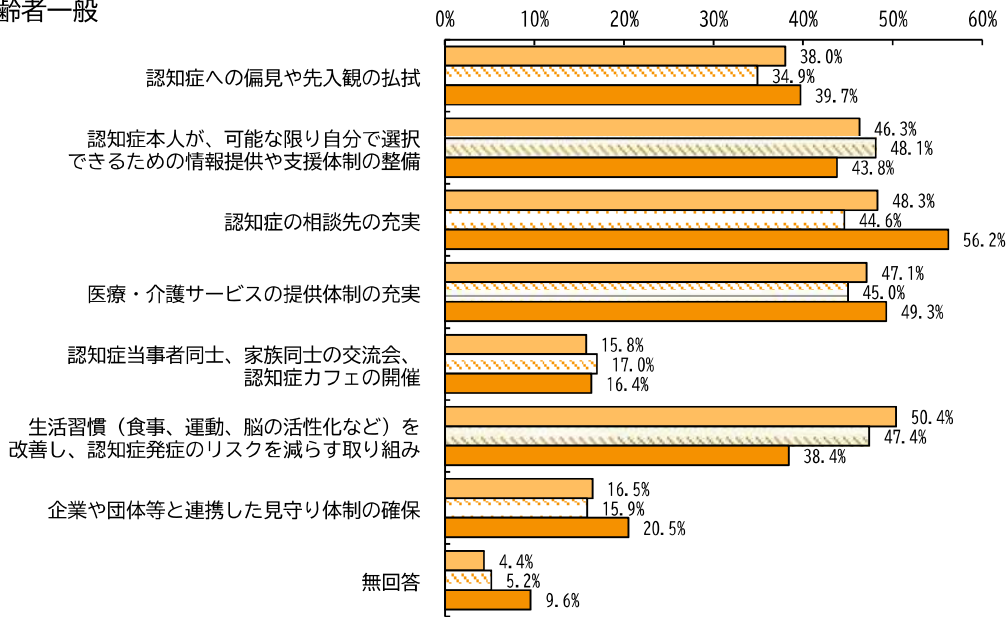
○在宅要介護



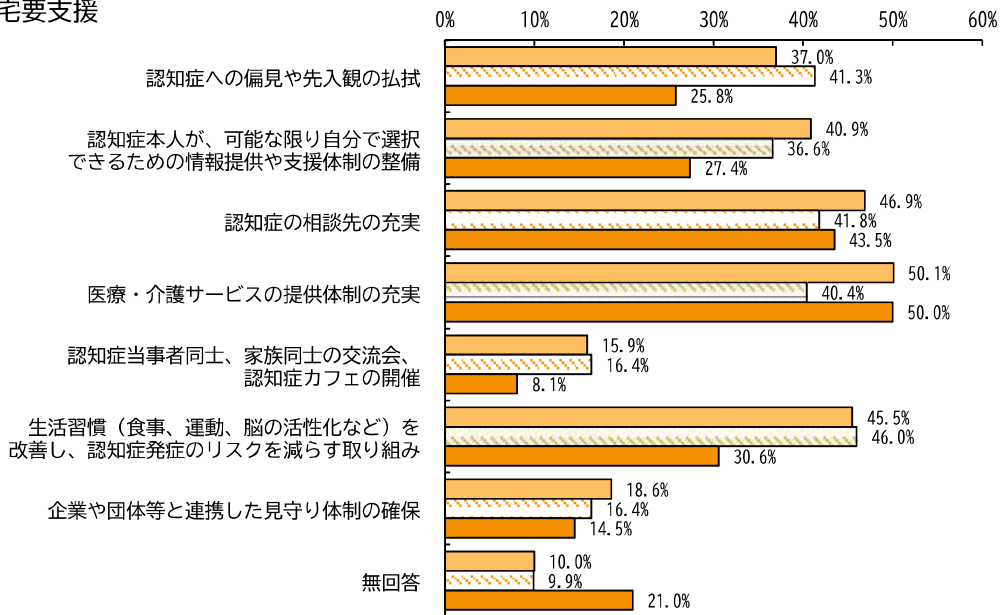
【区別集計】



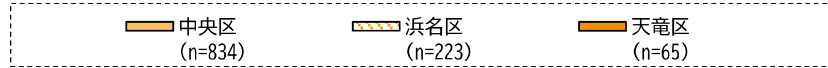
○高齢者一般



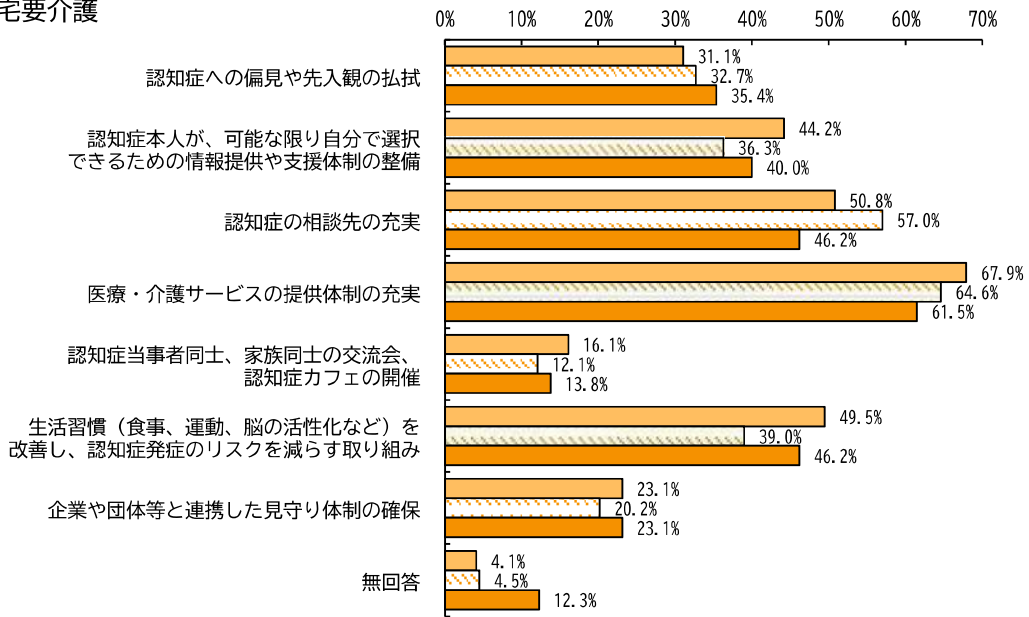
○在宅要支援



【区別集計】



○在宅要介護



(認知症等について)

地域包括支援センターの役割の認知

地域包括支援センター（高齢者相談センター）は、高齢者の方々が住みなれた地域で安心して暮らしていけるよう、介護・福祉・健康など様々な面から総合的に支援する機関で、市内に22か所設置されています。地域包括支援センター（高齢者相談センター）の役割を知っていますか。(○はひとつ)
 < 高齢者一般調査 問51・在宅要支援認定者調査 問52・在宅要介護認定者調査 問8 >

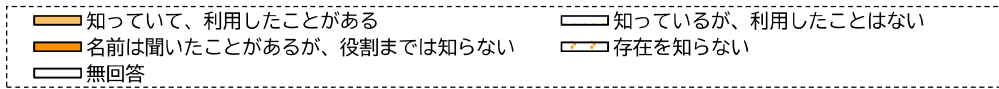
【単純集計】

回 答	高齢者一般		在宅要支援		在宅要介護	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
知っていて、利用したことがある	229	16.3%	660	52.5%	580	51.7%
知っているが、利用したことはない	446	31.7%	191	15.2%	170	15.2%
名前は聞いたことがあるが、役割までは知らない	376	26.8%	195	15.5%	191	17.0%
存在を知らない	324	23.1%	171	13.6%	162	14.4%
無回答	30	2.1%	40	3.2%	19	1.7%
合 計	1,405	100.0%	1,257	100.0%	1,122	100.0%

単純集計でみると、高齢者一般では「知っているが、利用したことはない」の割合が最も高くなっています。在宅要支援認定者、在宅要介護認定者では「知っていて、利用したことがある」の割合が最も高く、「知っているが、利用したことはない」と「名前は聞いたことがあるが、役割までは知らない」の割合を合わせると約8割となっています。

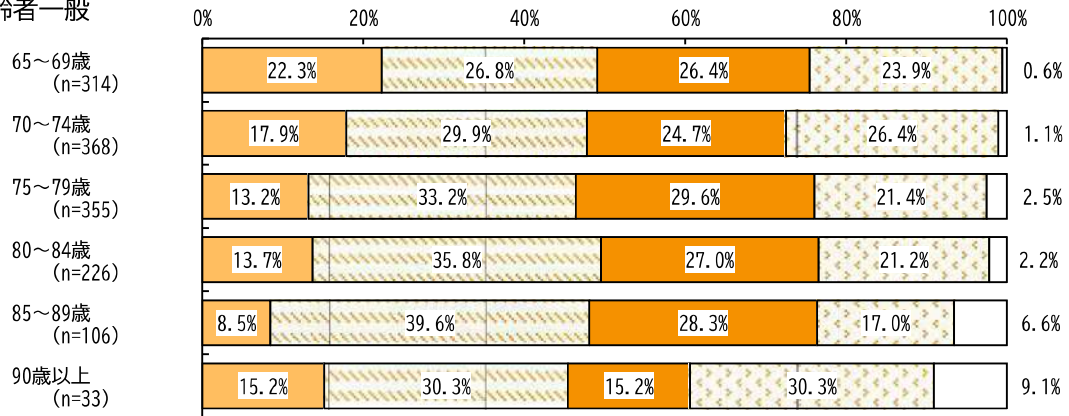
年齢別でみると、「知っていて、利用したことがある」と「知っているが、利用したことはない」を合わせた割合について、一般高齢者ではすべての年齢で5割を下回っていますが、在宅要支援認定者ではすべての年齢で5割を上回っており、在宅要介護認定者でも65歳以上は5割を上回っています。

地域包括支援センター別でみると、「知っていて、利用したことがある」と「知っているが、利用したことはない」を合わせた割合について、最も高い地域包括支援センターは、高齢者一般と在宅要介護認定者では北遠中央、在宅要支援認定者ではしんぱらとなっています。

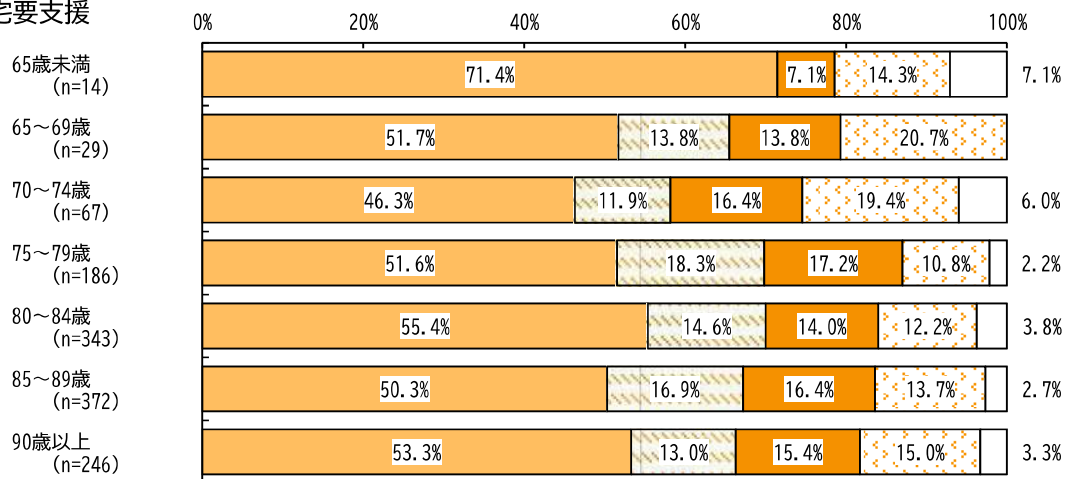


【年齢別集計】

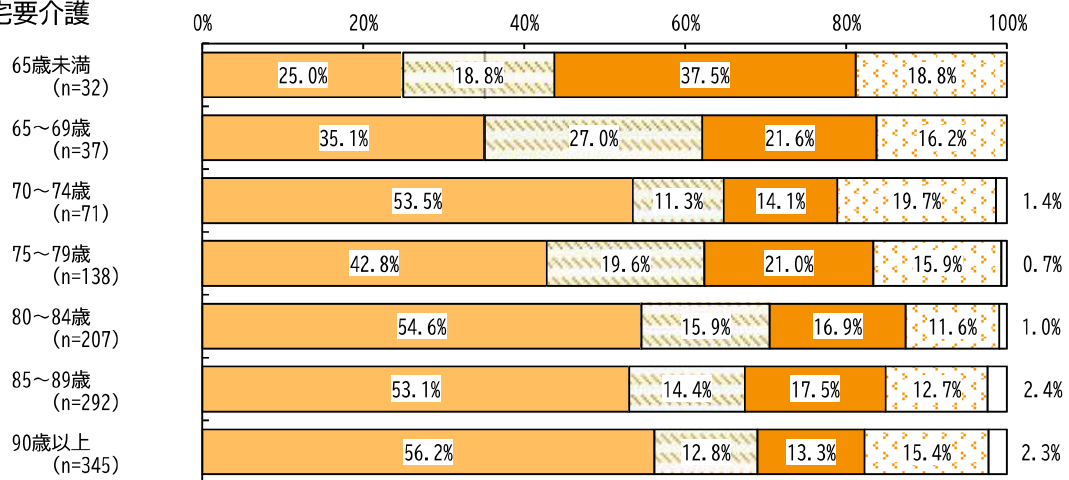
○高齢者一般

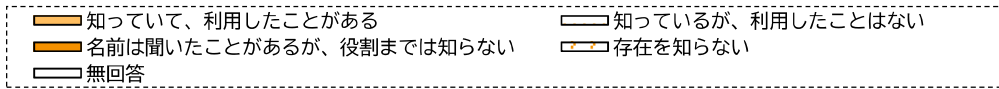


○在宅要支援



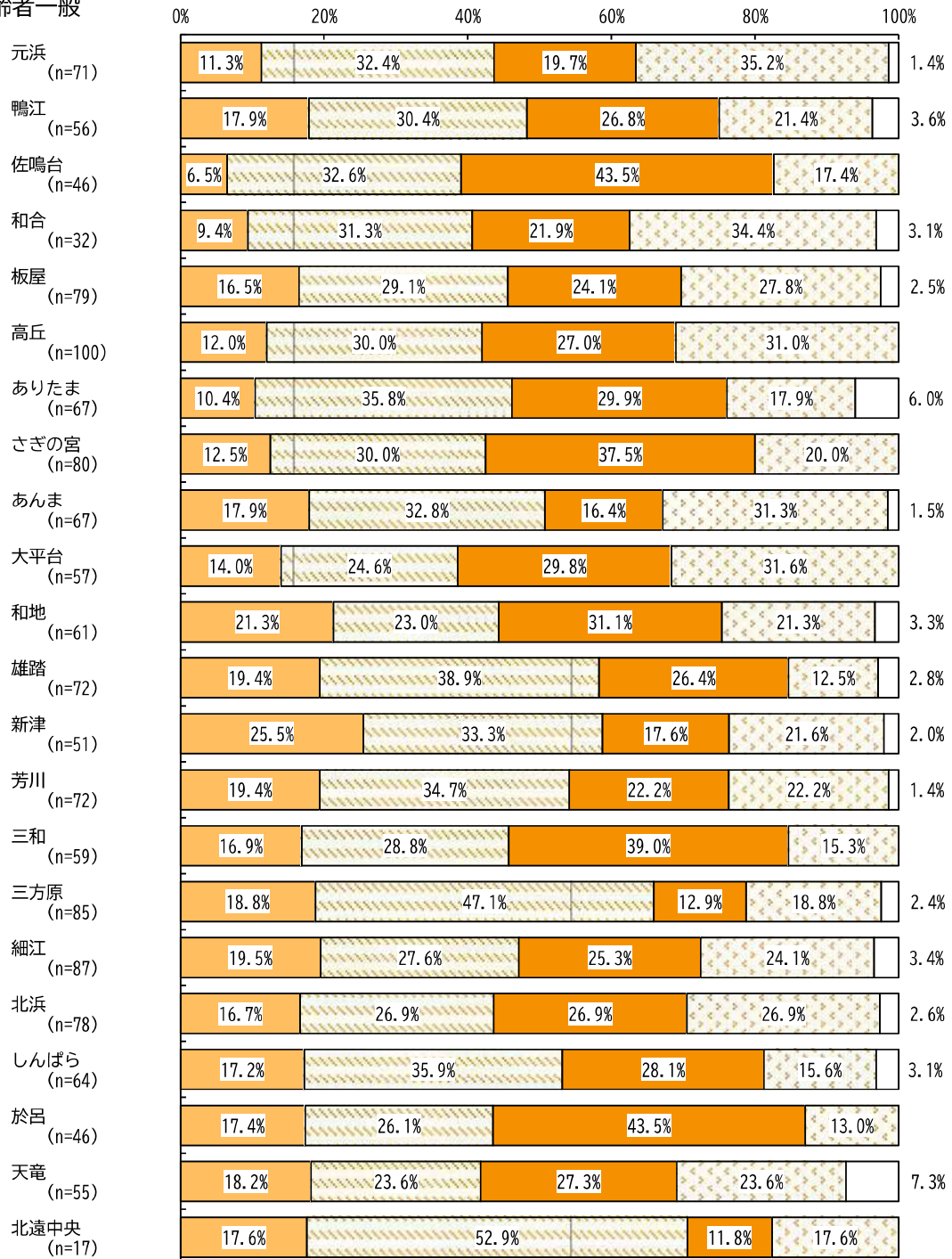
○在宅要介護

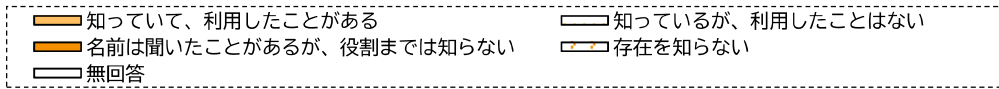




【地域包括支援センター別集計】

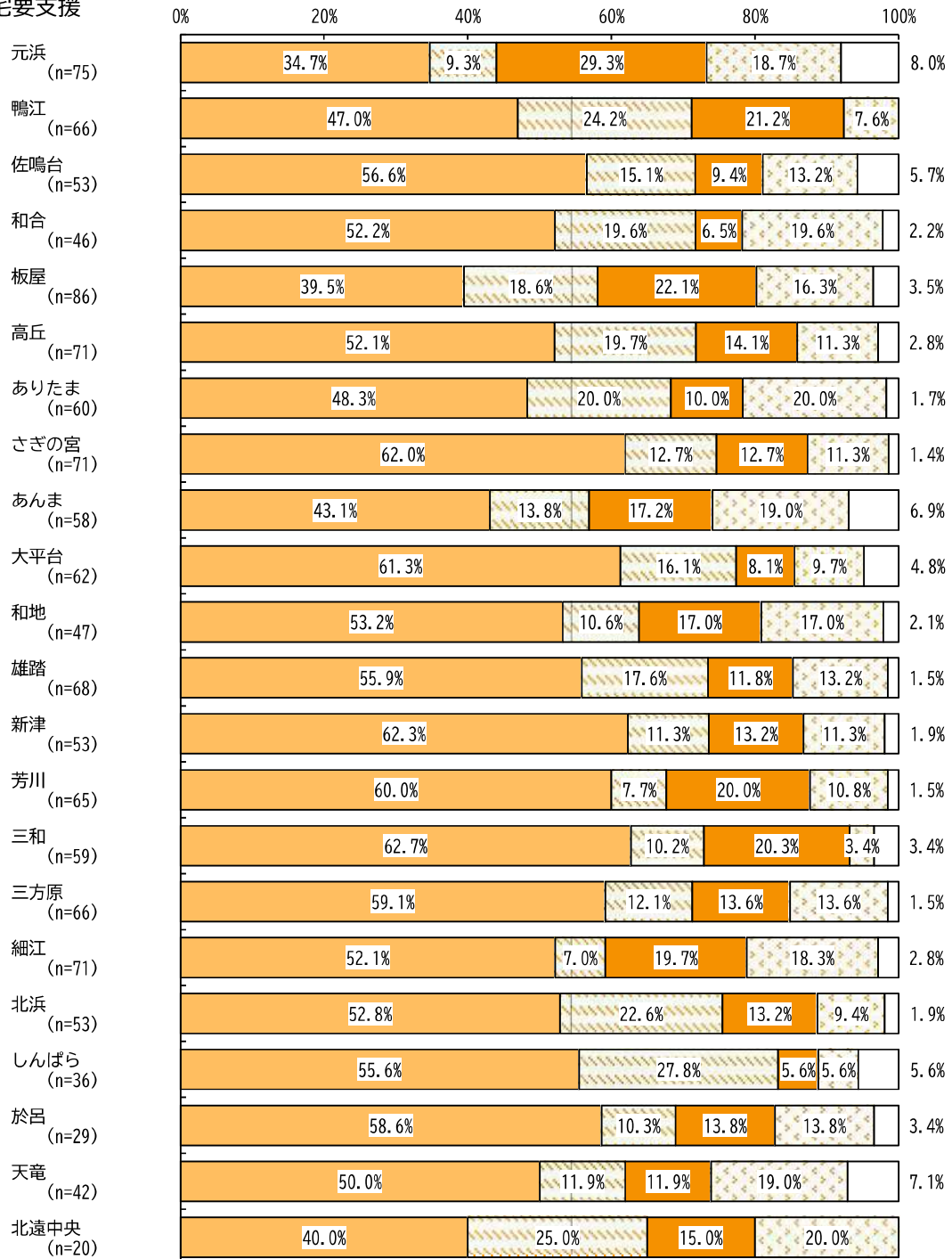
○高齢者一般

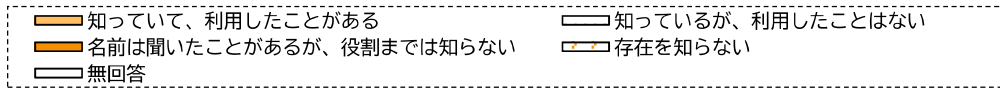




【地域包括支援センター別集計】

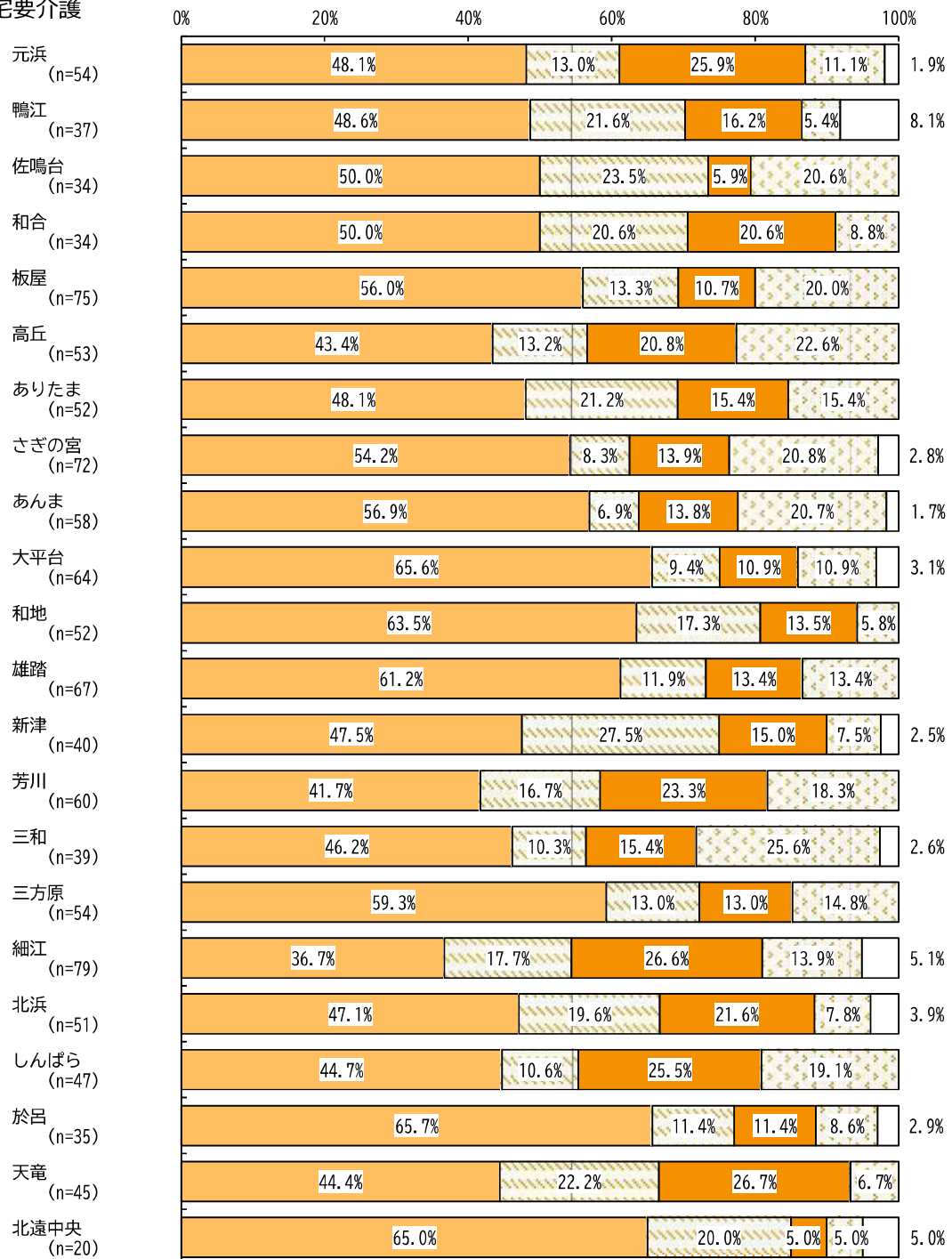
○在宅要支援





【地域包括支援センター別集計】

○在宅要介護



(認知症等について)

病気やけがをしたときの治療や生活について話したことがあるか

病気やけがをしたときに、どのような治療や生活をしたいか、ご家族や医療・介護従事者（例：医師や看護師、ケアマネジャー等）と話したことがありますか。（○はひとつ）

< 高齢者一般調査 問56・在宅要支援認定者調査 問53・在宅要介護認定者調査 問9 >

【単純集計】

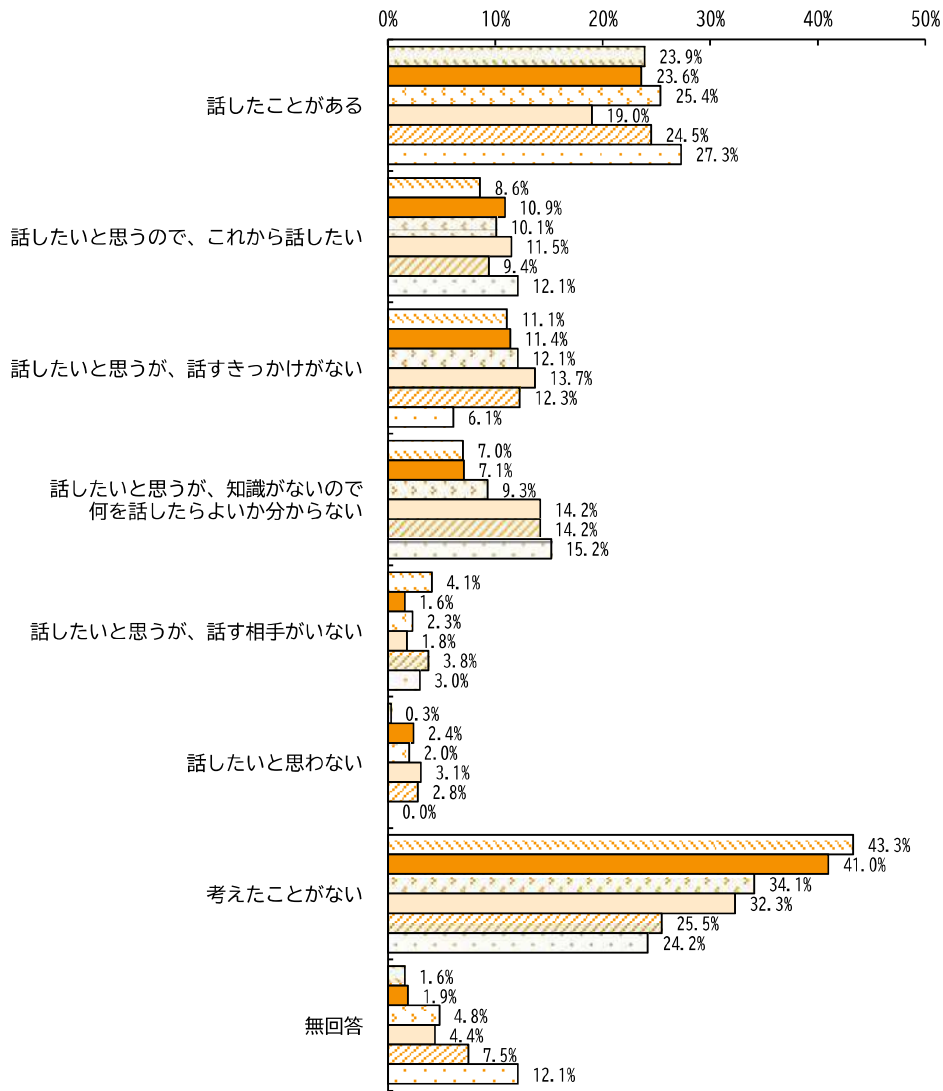
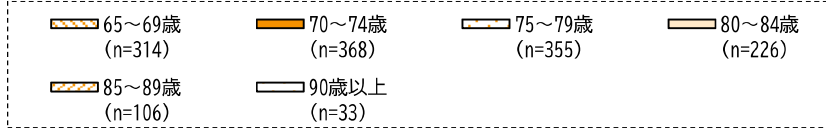
回 答	高齢者一般		在宅要支援		在宅要介護	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
話したことがある	331	23.6%	686	54.6%	814	72.5%
話したいと思うので、これから話したい	143	10.2%	130	10.3%	65	5.8%
話したいと思うが、話すきっかけがない	166	11.8%	97	7.7%	35	3.1%
話したいと思うが、知識がないので何を話したらよいか分からない	134	9.5%	87	6.9%	66	5.9%
話したいと思うが、話す相手がいない	36	2.6%	26	2.1%	6	0.5%
話したいと思わない	27	1.9%	15	1.2%	14	1.2%
考えたことがない	517	36.8%	158	12.6%	100	8.9%
無回答	51	3.6%	58	4.6%	22	2.0%
合 計	1,405	100.0%	1,257	100.0%	1,122	100.0%

単純集計でみると、高齢者一般では「考えたことがない」の割合が最も高く、在宅要支援認定者、在宅要介護認定者では「話したことがある」の割合が最も高くなっています。

年齢別でみると、高齢者一般では「考えたことがない」は、高齢者一般では年齢が高くなるにつれて低くなる傾向がみられます。

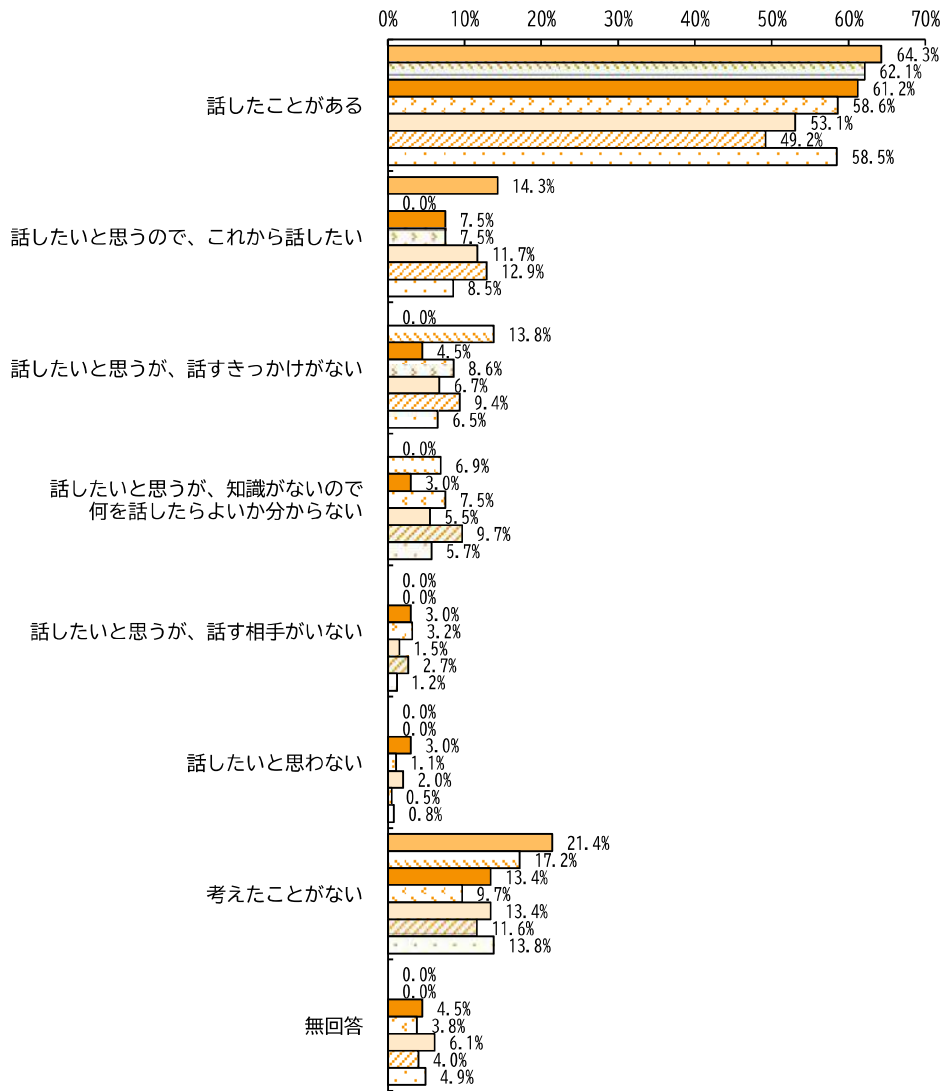
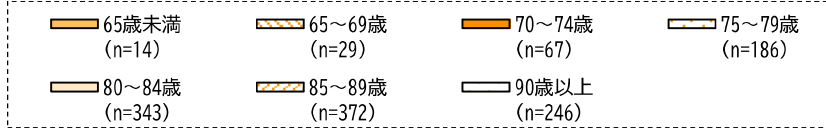
【年齢別集計】

○高齢者一般



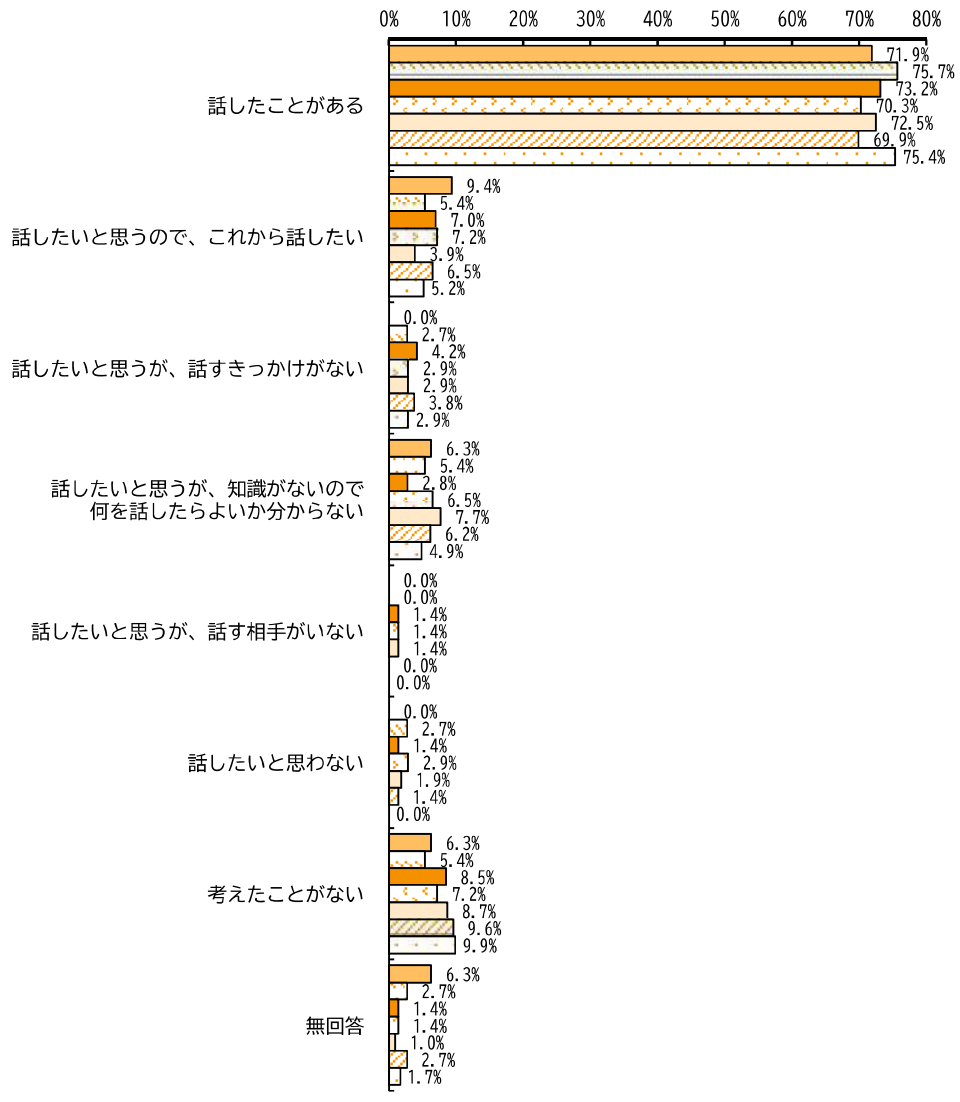
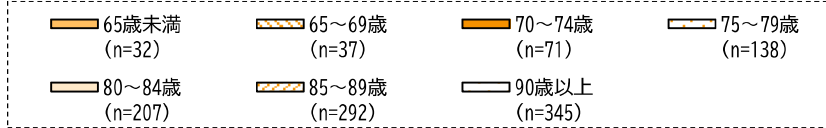
【年齢別集計】

○在宅要支援



【年齢別集計】

○在宅要介護



「人生会議手帳」の認知

浜松市が作成した「人生会議手帳」を知っていますか。(○はひとつ)

<高齢者一般調査 問57・在宅要支援認定者調査 問54・在宅要介護認定者調査 問10>

【単純集計】

回 答	高齢者一般		在宅要支援		在宅要介護	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
知っていて、活用したことがある	9	0.6%	26	2.1%	38	3.4%
知っているが、活用したことはない	74	5.3%	140	11.1%	95	8.5%
知らない	1,294	92.1%	1,058	84.2%	975	86.9%
無回答	28	2.0%	33	2.6%	14	1.2%
合 計	1,405	100.0%	1,257	100.0%	1,122	100.0%

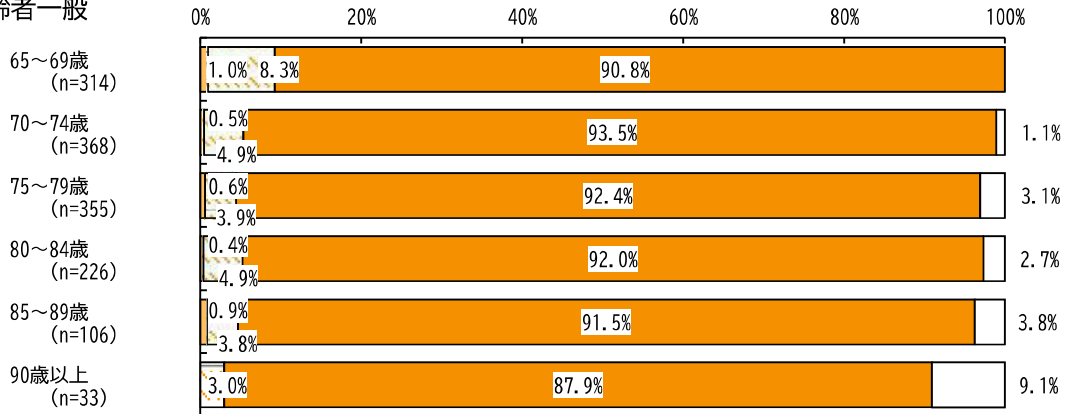
単純集計でみると、高齢者一般、在宅要支援認定者、在宅要介護認定者ともに「知らない」の割合が高く8割を超えています。

年齢別でみると、「知っていて、活用したことがある」と「知っているが、活用したことはない」を合わせた割合は、高齢者一般と在宅要介護認定者では65～69歳が、在宅要支援認定者では75～79歳が最も高くなっています。

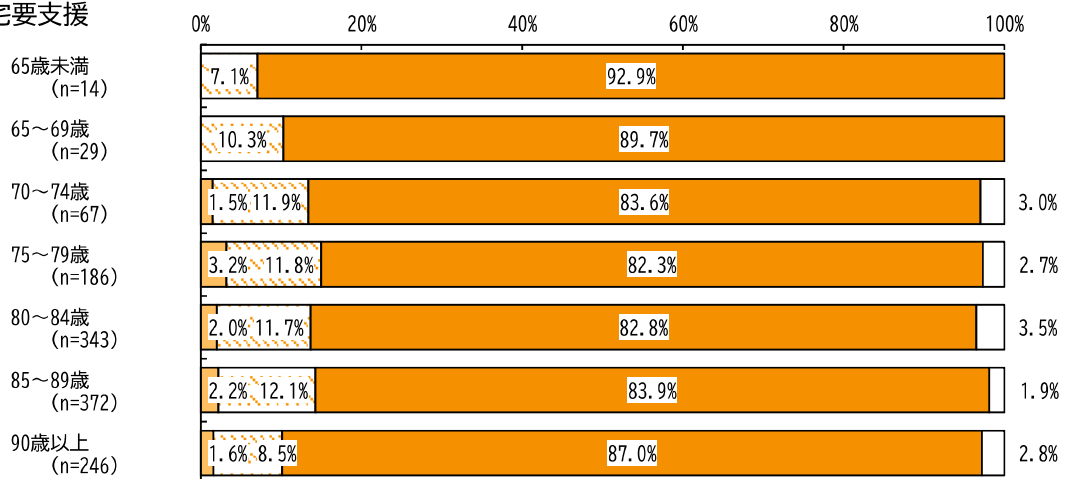
知っていて、活用したことがある
 知っているが、活用したことはない
 知らない
 無回答

【年齢別集計】

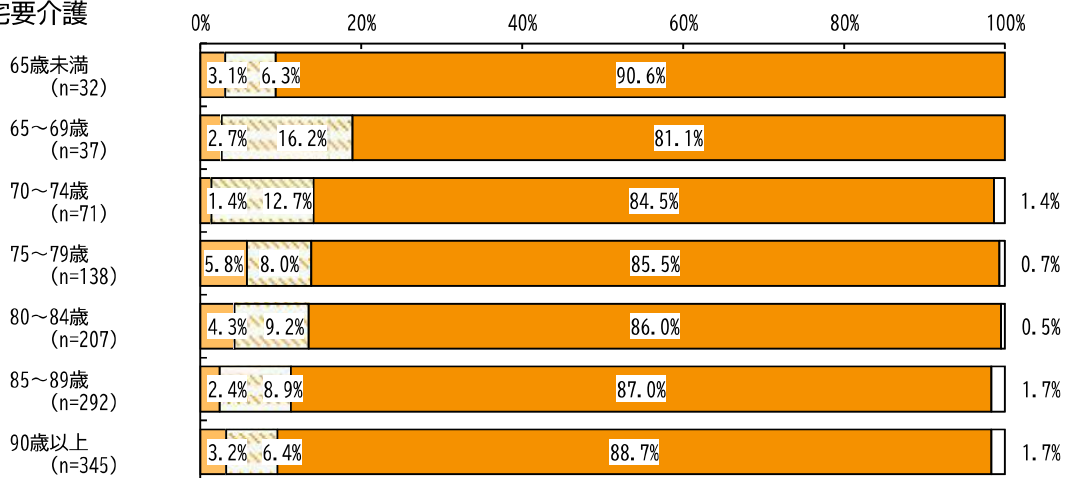
○高齢者一般



○在宅要支援



○在宅要介護



介護が必要になった場合に受けたい介護

あなたは介護が必要となった場合、どこで介護を受けたいと思いますか。(○はひとつ)

<高齢者一般調査 問48>

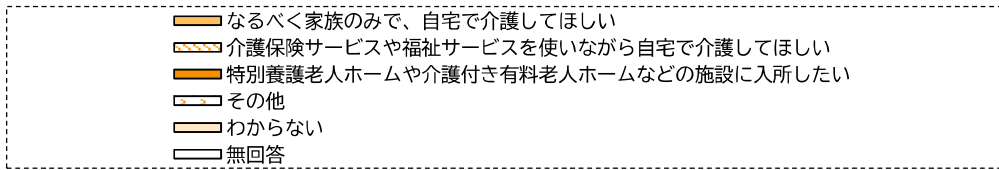
【単純集計】

回 答	高齢者一般	
	件数	割合
なるべく家族のみで、自宅で介護してほしい	236	16.8%
介護保険サービス（デイサービスや短期の宿泊サービスなど）や福祉サービス（緊急通報サービスなど）を使いながら自宅で介護してほしい	574	40.9%
特別養護老人ホームや介護付き有料老人ホームなどの施設に入所したい	305	21.7%
その他	10	0.7%
わからない	254	18.1%
無回答	26	1.9%
合 計	1,405	100.0%

単純集計でみると、「介護保険サービス（デイサービスや短期の宿泊サービスなど）や福祉サービス（緊急通報サービスなど）を使いながら自宅で介護してほしい」の割合が最も高くなっています。

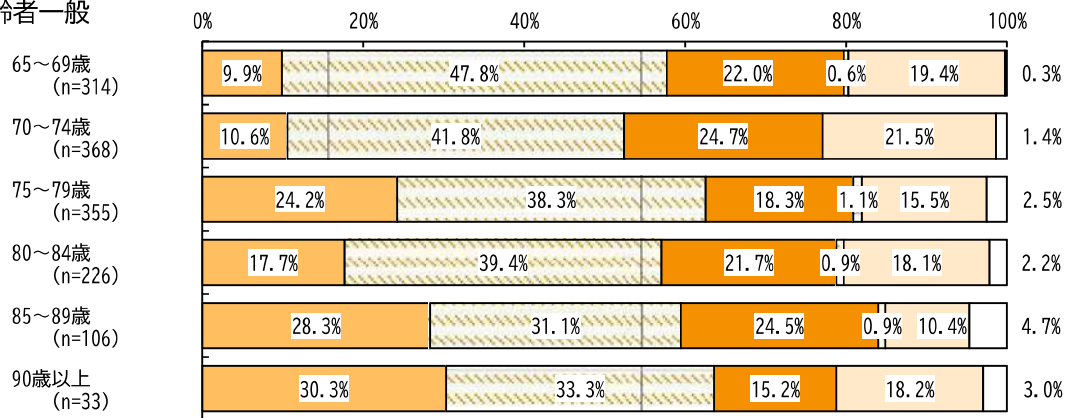
年齢別でみると、年齢が高くなるにつれて「なるべく家族のみで、自宅で介護してほしい」の割合が高くなる傾向があります。

家族構成別でみると、1人暮らしでは「特別養護老人ホームや介護付き有料老人ホームなどの施設に入所したい」が最も高くなっています。



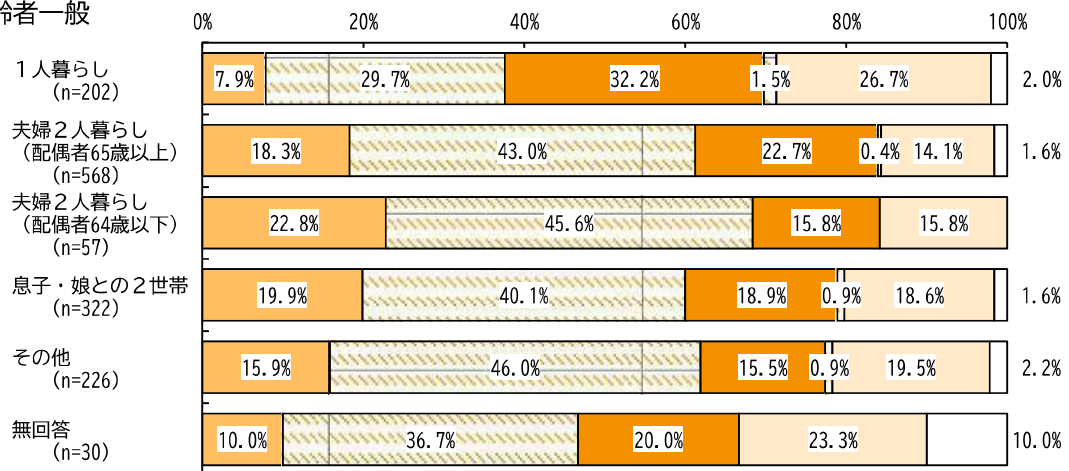
【年齢別集計】

○高齢者一般



【家族構成別集計】

○高齢者一般



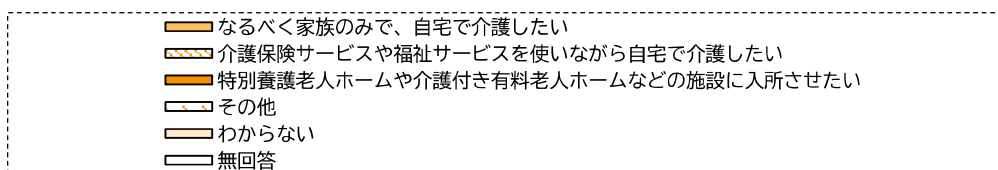
家族に介護が必要になった場合にしたい介護

あなたの家族に介護が必要となった場合、どのように介護したいと思いますか。(〇はひとつ)
 <高齢者一般調査 問49>

【単純集計】

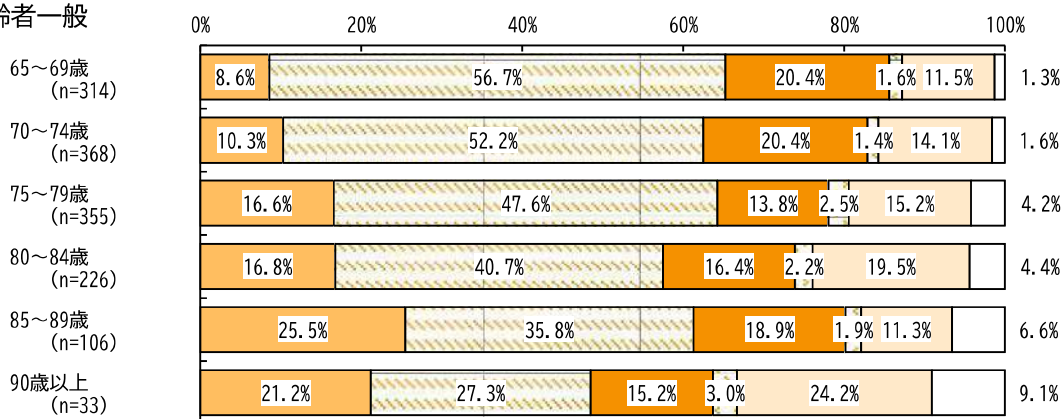
回答	高齢者一般	
	件数	割合
なるべく家族のみで、自宅で介護したい	196	14.0%
介護保険サービス（デイサービスや短期の宿泊サービスなど）や福祉サービス（緊急通報サービスなど）を使いながら自宅で介護したい	679	48.3%
特別養護老人ホームや介護付き有料老人ホームなどの施設に入所させたい	250	17.8%
その他	28	2.0%
わからない	207	14.7%
無回答	45	3.2%
合計	1,405	100.0%

単純集計でみると、「介護保険サービス（デイサービスや短期の宿泊サービスなど）や福祉サービス（緊急通報サービスなど）を使いながら自宅で介護したい」の割合が高くなっています。
 年齢別でみると、年齢が高くなるにつれて「なるべく家族のみで、自宅で介護したい」の割合が高くなる傾向がみられます。



【年齢別集計】

○高齢者一般



老後を安心して過ごすために市に充実を求めること

老後を安心して過ごすために、今後、市に対して特に充実を求めることはどのようなことですか。

(〇は3つまで)

<高齢者一般調査 問58>

【単純集計】

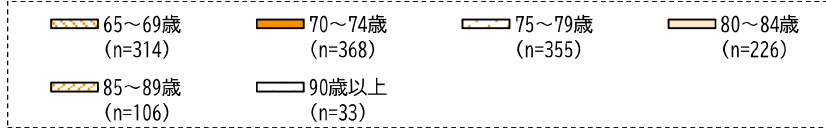
回 答	高齢者一般	
	件数	割合
健康づくり（定期健診、栄養指導等）	390	27.8%
介護予防（生活習慣病の予防、心身機能低下の予防）	357	25.4%
生涯学習	67	4.8%
緊急通報システムの貸与	192	13.7%
配食サービス	301	21.4%
就労支援	63	4.5%
手続きや金銭管理の支援（成年後見制度等）	94	6.7%
高齢者虐待防止	48	3.4%
高齢者向けアパート	136	9.7%
介護サービス付の入居施設	442	31.5%
在宅医療	258	18.4%
訪問看護、訪問リハビリテーション	236	16.8%
外来診療	85	6.0%
認知症施策	92	6.5%
訪問介護、訪問入浴介護	149	10.6%
通所介護（デイサービス）、通所リハビリテーション	270	19.2%
短期入所（ショートステイ）	118	8.4%
地域での見守りや支えあい活動の支援	184	13.1%
無回答	65	4.6%
回 答 数	1,405	-

単純集計でみると、「介護サービス付の入居施設」の割合が最も高く、次いで「健康づくり（定期健診、栄養指導等）」、「介護予防（生活習慣病の予防、心身機能低下の予防）」の順で割合が高くなっています。

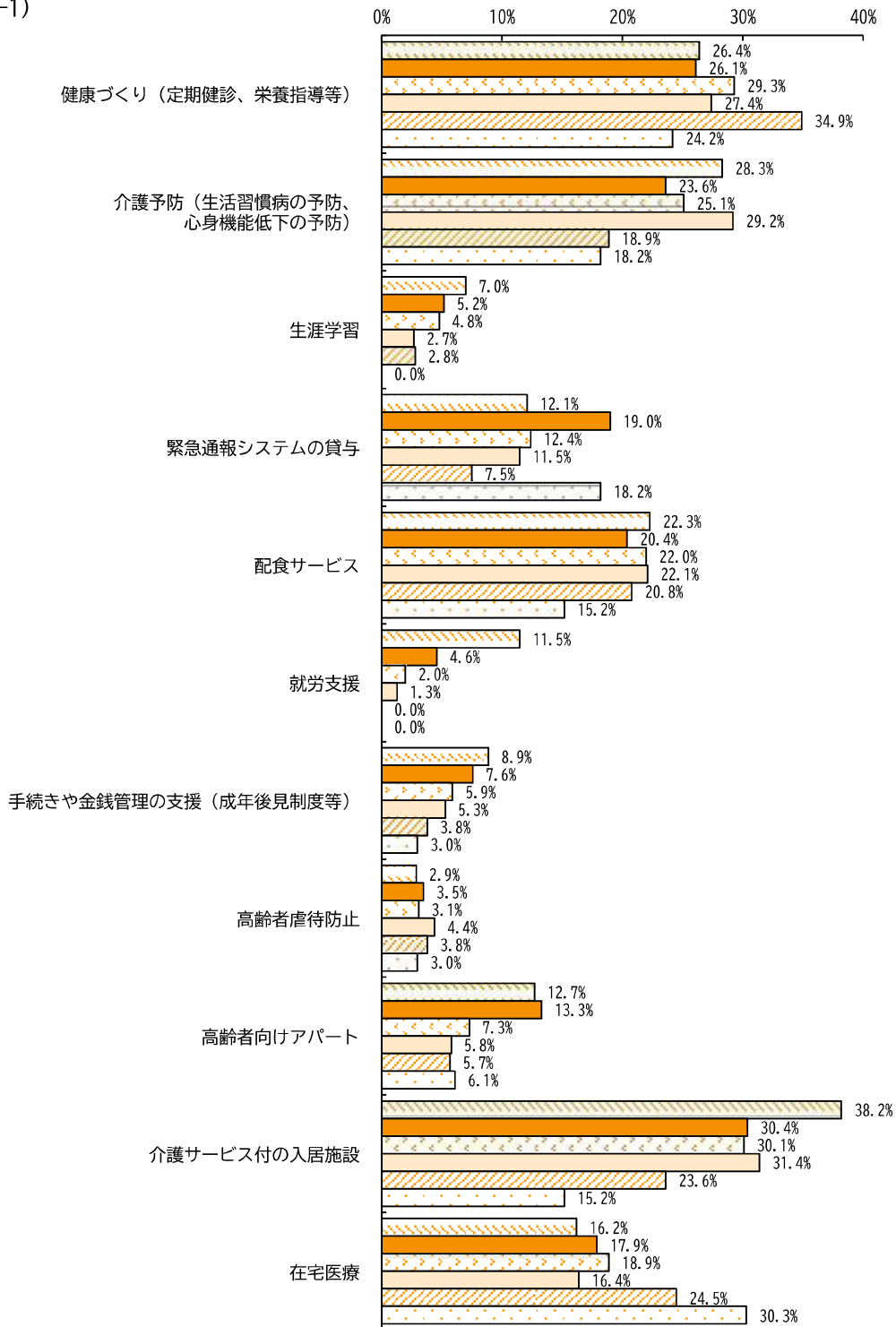
年齢別でみると、65～69歳では「介護サービス付の入居施設」の割合が他の年代と比べて高くなっています。

【年齢別集計】

○高齢者一般

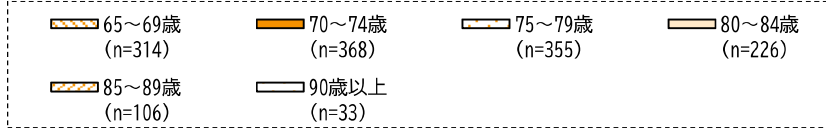


(2-1)

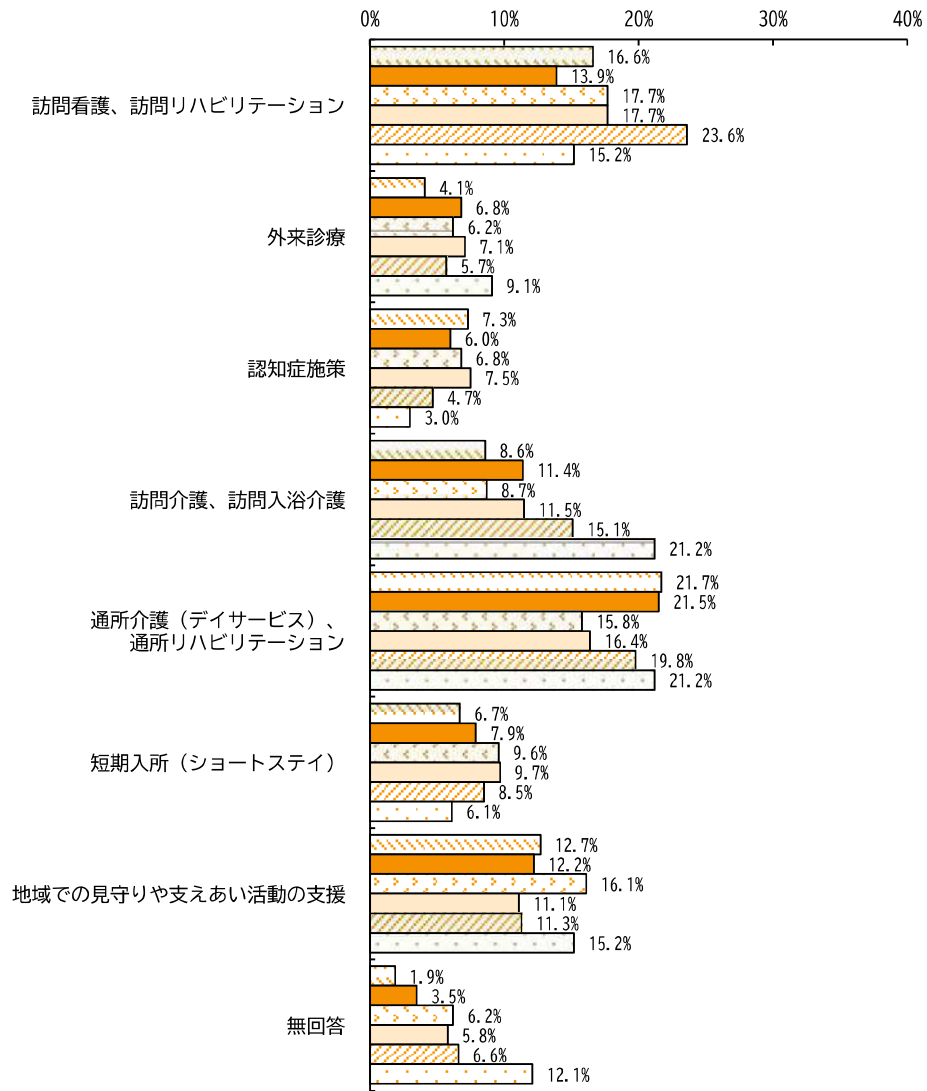


【年齢別集計】

○高齢者一般



(2-2)



災害時や緊急時に1人で避難できるか

あなたは、災害時や緊急時に、1人で避難することができますか。(○はひとつ)

<在宅要支援認定者調査 問55・在宅要介護認定者調査 問11>

【単純集計】

回 答	在宅要支援		在宅要介護	
	件数	割合	件数	割合
避難できる	382	30.4%	133	11.9%
1人で判断できるが、避難できない※	457	36.4%	356	31.7%
1人で判断できず、避難できない※	212	16.9%	496	44.2%
わからない	179	14.2%	125	11.1%
無回答	27	2.1%	12	1.1%
合 計	1,257	100.0%	1,122	100.0%

※選択肢「1人で判断できるが、避難できない」は

在宅要介護認定者調査では「避難するべきかどうか1人で判断できるが、避難できない」

※選択肢「1人で判断できず、避難できない」は

在宅要介護認定者調査では「避難するべきかどうか1人で判断できず、避難できない」

単純集計で見ると、在宅要支援認定者では「1人で判断できるが、避難できない」の割合が高くなっています。在宅要介護認定者では「1人で判断できず、避難できない」の割合が高くなっています。

年齢別で見ると、在宅要介護認定者では年齢が高くなるにつれて「1人で判断できず、避難できない」の割合が高くなる傾向にあります。

区別で見ると、大きな差はみられません。

家族構成別で見ると、大きな差はみられません。